

生涯教育文献目録 (1980. 1 ~ 1985. 12)

広島大学教育学部
社会教育学研究室

— 凡 例 —

- (1) 学会員を対象に1986年3月から4月にかけて行なった生涯教育文献調査の回答をもとに、1980年から1985年末までに発行された文献を収録した。
 (2) 領域別の整理は執筆者自身による回答を尊重し、複数回答のものは、一番最初にあげられた領域のみを採用した。

(3) 領域は次のとおりである。

1 生涯教育一般	7 生涯教育と学校教育 (学校改革・学校開放も含む)
1-a 生涯教育の理念	8 生涯教育と地域社会
1-b 生涯教育の歴史	9 生涯教育と企業内教育
1-c 生涯教育の内容	10 生涯教育と放送・通信教育
1-d 生涯教育の方法	11 生涯教育と関連教育施設 (生涯教育センター・社会教育センター・ 公民館・文化センターなど諸施設論を含む)
1-e 自己(管理的)学習論	12 学習情報・相談
1-f ライフ・サイクル論	13 人材活用
1-g 学習社会論	14 生涯教育と行政施策 (答申・報告書等も含む)
1-h その他	15 生涯教育の推進事例
2 生涯教育と青少年教育	16 諸外国の生涯教育
3 生涯教育と成人教育 (婦人教育も含む)	17 その他
4 生涯教育と高齢者教育	
5 生涯教育と社会体育・スポーツ	
6 生涯教育と家庭教育	

(4) 文献は各領域ごとにⅠ～Ⅵに類別し、各年次別に配列した。さらに各年次の中を執筆者(著者、翻訳者、編者)の50音順とした。

(5) 記載事項は次のとおりである。

〈単行本〉 ①編著者名②書名③発行所名④発行年

〈雑誌・報告書等の論文・記事〉 ①執筆者名②標題③所収誌名④巻・号⑤発行所名⑥発行年⑦所収頁

(6) 発行年、頁数の表記は次のとおりとした。

例：1980年→1980

3頁～5頁→3—5

1. 生涯教育一般

I 著書

- ・佐々木隆介・森二三男・小畑 和・柴 晴彦, 『新版生涯教育の原理と心理』, 開発社, 1981。
- ・佐々木隆介・高倉嗣昌・松田光一・久富善之『社会学』, 学術図書出版社, 1982。
- ・下山田裕彦・山本恒夫・浅井経子他, 『現代の教育と人間形成——その理想と生きがいの探究』, 川島書店, 1982。
- ・瀬沼克彰, 『生涯教育の構図』, 大明堂, 1983。
- ・板垣清一郎, 『生涯学習のすすめ』, 清文社, 1984。
- ・住岡英毅, 『生涯教育の人間関係』, アカデミア出版会, 1985。

II 編書

- ・塚本哲人・古野有隣・山路勝男編, 『21世紀への人づくりまちづくり』, 日常出版株式会社, 1984。
- ・稲生劉吾編著, 『社会教育概論』, 樹村房, 1985, 12-24。
- ・岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育とは何か—課題から実践へ—』(生涯教育対策実践シリーズ1), ぎょうせい, 1985。
- ・岡本包治・山本恒夫編, 『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2), ぎょうせい, 1985。
- ・岡本包治・山本恒夫編, 『市町村の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ3), ぎょうせい, 1985。
- ・岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育のアイデアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4), ぎょうせい, 1985。
- ・岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育データバンク』(生涯教育対策実践シリーズ5), ぎょうせい, 1985。

III 翻訳書

- ・岸本幸次郎・佐々木正治監訳, シュバルツ編著, 『生涯教育—21世紀の教育改革』, 明治図書, 1980。

IV 雑誌論文

- ・古野有隣・辻 功・山本恒夫・浅井経子・山本和人・手打明敏,「社会教育システムについての研究」,『金沢大学大学教育開放センター紀要』,創刊号,金沢大学大学教育開放センター,1980,94—126。
- ・山本恒夫,「生涯教育のシステム化」,『生涯教育の展開』(日本生涯教育学会年報第1号),ぎょうせい,1980,3—19。
- ・山本恒夫,「生涯教育と我が国の教育水準」,『文部時報』,第1252号,ぎょうせい,1981,36—41。
- ・山本恒夫,「これからの社会教育」,『地方議会人』,第12巻第2号,中央文化社,1981,21—24。
- ・山本恒夫,「生涯学習の実態と可能性」,『教育の情報』,No.274,第一法規,1981,6—11。
- ・山本恒夫,「生涯教育推進の方向」,『労務研究』,第34巻第4号,日本労務研究会,1981,9—14。
- ・佐々木隆介,「生涯教育と社会教育」,『北海道教育』,第93号,北海道立教育研究所,1983,22—27。
- ・藤岡英雄・大串元紀夫・小平さち子,「日本人の学習関心—成人の学習ニーズをとらえる(学習関心調査・報告1)」,『NHK放送研究と調査』,5月号,日本放送出版協会,1983,2—43。
- ・岡本包治,「家庭教育・社会教育などの奨励」,『教職研修』,145号,教育開発研究所,1984,70—72。
- ・藤岡英雄,「市民生活と学習—意識と学習行動の現状」,『社会教育』,第40巻第5号,全日本社会教育連合会,1985,67—72。
- ・山本恒夫,「10年後の社会教育はどうなるか」,『社会教育』,第40巻第5号,全日本社会教育連合会,1985,5—14。

V 編纂書論文

- ・吉川 弘,「生涯教育構想の中の社会教育」,古野有隣・伊藤俊夫・吉川 弘・山本恒夫編,『現代社会教育の展開』,文教書院,1980,21—31。
- ・岡本包治,「離島住民の学習と連帯—教育・文化的課題とその解決方策について」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,233—252。
- ・山本恒夫,「生涯教育時代における社会教育の役割」,国立社会教育研修所編,

- 『生涯教育の展望』, 国立社会教育研修所, 1981, 102—120。
- ・山本恒夫, 「社会教育」, 大浦 猛編, 『教育学』(第3版), 医学書院, 1982, 51—79。
 - ・山本恒夫, 「生涯教育のシステム化」, 筑波大学教育学研究会編, 『現代教育学の基礎』, ぎょうせい, 1982, 170—175。
 - ・浅井経子, 「学習者の学習需要把握」, 伊藤俊夫・河野重男・辻 功編, 『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 266—270。
 - ・岡本包治, 「生涯学習のすすめ」, 厚木市教委, 『生涯学習のすすめ』, 厚木市教育委員会, 1983, 18—30。
 - ・山本恒夫, 「社会教育の理論アプローチVI—実証研究の視座」, 伊藤俊夫・河野重男・辻 功編, 『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 37—43。
 - ・山本恒夫, 「生活意識・学習要求の変容と社会教育」, 伊藤俊夫・河野重男・辻 功編, 『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 114—120。
 - ・佐々木隆介, 「社会の変化と生涯教育」, 家族問題研究会編, 『家庭なき家族』, 北海道教育社, 1984, 54—64。
 - ・角替弘志, 「社会教育制度」, 教育制度研究会編, 『要説教育制度』, 学術図書出版社, 1984。
 - ・山本恒夫, 「生涯教育とシステム化」, 鹿児島県編, 『2000年のかごしま研究会委員論文集』, 鹿児島県, 1984, 147—157。
 - ・浅井経子, 「データでみる日本の生涯教育」, 岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育データバンク』(生涯教育対策実践シリーズ5), ぎょうせい, 1985, 1—217。
 - ・岡本包治, 「生涯教育の現状と課題」, 岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育とは何か—課題から実践へ—』(生涯教育対策実践シリーズ1), ぎょうせい, 1985, 3—11。
 - ・佐々木隆介, 「生涯教育の意義」, 北海道青少年育成協会, 『家庭のまど—中高校生を持つ親と教師のために—』(第18編), 財団法人北海道青少年育成協会, 1985, 55—70。
 - ・渋谷英章, 「日本の生涯教育施策」, 岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育のアイディアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4), ぎょうせい, 1985, 30—47。
 - ・角替弘志, 「生涯教育」, 藤田忠男監修, 『学校教育基礎論』, 梓出版社, 1985, 205—215。
 - ・伴 恒信, 「ユネスコの生涯教育」, 新堀通也編, 『現代生涯教育の研究』, ぎょうせい, 1985, 60—76。
 - ・三浦清一郎, 「生涯教育事業組織化の方向」, 福岡県立社会教育総合センター編

- 『福岡県の生涯教育』, 第1集, 福岡県立社会教育総合センター, 1985, 1—5。
- ・山田恒夫, 「日本の高齢化と生涯学習」, 岡本包治・山本恒夫編, 「生涯教育とは何か—課題から実践へ—」(生涯教育対策実践シリーズ1), ぎょうせい, 1985, 315—330。
 - ・山本恒夫, 「一般的(非職業的)な継続教育の構造(日本)」, 木田 宏・H.ベッカー編, 『(日独シンポジウム)日本とドイツの継続教育』, 愛育出版, 1985, 70—89。
 - ・山本恒夫, 「都道府県における生涯教育の推進状況—その全体的傾向—」, 岡本包治・山本恒夫編, 『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2), ぎょうせい, 1985, 1—27。

VI 調査報告

- ・山本恒夫, 「生涯教育の必要性」, 栃木県藤原町教育委員会編, 「藤原町の町民意識と学習意欲に関する調査」, 栃木県藤原町教育委員会, 1980, 65—76。
- ・山本恒夫, 『都道府県の生涯教育(概要)』, 日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」, 1983。
- ・今野 豊, 「生涯教育の推進をめざして」, 『派遣社会教育主事教育実践研究報告書』, 第8集, 北海道教育庁十勝教育局, 1984, 1—6。
- ・馬場栄一, 「市民の学習活動の実態・学習ニーズに関する調査研究」, 『研究紀要』, 第3号, 高松市教育文化研究所, 1984, 1—50。
- ・山形県生涯教育推進連絡会議, 『山形県生涯教育関連事業概要』, 山形県(生活福祉部), 1984。
- ・山本恒夫, 「全体的な傾向」, 日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」編, 『都道府県の生涯教育調査』, 日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」, 1984, 5—20。
- ・浅井経子, 「10年後の社会教育はどうなっているか—予測調査報告—」, 『社会教育』, 第40巻第5号, 全日本社会教育連合会, 1985, 87—99。

1— a 生涯教育の理念

IV 雑誌論文

- ・岡本包治, 「社会教育はなぜいま必要なのか」, 『社会教育資料』, 84号, 広池学

園出版部, 1982, 24—33。

- ・住岡英毅, 「生涯教育理念からみた脱学校論」, 『日本社会教育学会紀要』, No.18, 日本社会教育学会, 1982, 7—14。
- ・赤尾勝己, 「生涯教育における教育機会均等概念の検討」, 『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号), ぎょうせい, 1983, 163—177。
- ・岡本包治, 「生涯教育とは何か」, 『社会教育』, 第38巻443号, 全日本社会教育連合会, 1983, 5—9。
- ・香川正弘・広渡秀一, 「生きがい学習の編成と評価の構造——さが社会保険センターにおける実践——」, 『佐賀大学教育学部研究論文集』, 第33集第1号(1), 佐賀大学教育学部, 1985, 1—26。

V 編纂書論文

- ・佐々木隆介, 「生涯教育の理念と展望」, 国立社会教育研修所編, 「生涯教育の理念と展望」, 国立社会教育研修所, 1984, 21—42。
- ・佐伯信男, 「昭和9年(1934)における中田・松尾論争の今日的意義」, 佐伯信男編著, 『社会教育施設論I』(私家版), 教友社, 1985, 181—196。
- ・住岡英毅, 「社会教育のコミュニケーション論」, 新堀通也編, 『現代生涯教育の研究』, ぎょうせい, 1985, 31—45。

VI 調査報告

- ・香川正弘, 「社会保険福祉サービスセンター(仮称)の理念」, 『社会保険福祉サービスセンター(仮称)の有効利用の方策に関する調査研究報告書』, 財団法人佐賀経済調査協会, 1983, 41—56。
- ・香川正弘, 「社会保険福祉サービスセンター(仮称)の人的組織」, 『社会保険福祉サービスセンター(仮称)の有効利用の方策に関する調査研究報告書』, 財団法人佐賀経済調査協会, 1983, 77—90。
- ・香川正弘, 『社会保険センター運用に関する調査研究報告書』, 社団法人全国社会保険協会連合会, 1984。

1—b 生涯教育の歴史

II 編書

- ・生涯教育研究所編(編集代表・斎藤清三), 『社会教育の軌跡と展望』, 中央書店,

1984。

IV 雑誌論文

- ・小池源吾,「シカゴ大学における大学拡張の定着過程に関する研究」,『日本社会教育学会紀要』,第16号,日本社会教育学会,1980,61-69。
- ・山本恒夫,「近代日本人の精神構造分析(Ⅰ)―精神構造の理論的検討―」,『筑波大学教育学系論集』,第4巻,筑波大学教育学系,1980,111-122。
- ・山本恒夫,「相原熊太郎」(社会教育論者の群像),『社会教育』,第36巻第8号,全日本社会教育連合会,1981,43-47。
- ・山本恒夫,「近代日本人の精神構造分析(Ⅱ)―実業人の場合―」,『筑波大学教育学系論集』,第5巻,筑波大学教育学系,1981,111-125。
- ・香川正弘,「イギリス地方試験制度の成立過程」,『佐賀大学教育学部研究論文集』第30集第1号(1),佐賀大学教育学部,1982,19-41。
- ・小池源吾,「アメリカ大学拡張協会における拡張講師の一考察」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),ぎょうせい,1982,323-341。
- ・山本恒夫,「近代日本人の精神構造分析(Ⅲ)―政官界人を中心―」,『筑波大学教育学系論集』,第6巻,筑波大学教育学系,1982,93-106。
- ・山本恒夫,「国民教化と庶民の対応」,『歴史公論』,第83号,雄山閣,1982,55-60。
- ・香川正弘,「イギリスにおける女性高等教育運動の先駆的動向」,『佐賀大学教育学部研究論文集』,第31集第2号(2),佐賀大学教育学部,1983,21-45。
- ・香川正弘,「1800年における二つのメカニクス,クラスの歴史的意義」,『日本社会教育学会紀要』,No.20,日本社会教育学会,1984,1-8。
- ・小池源吾,「G.ヘンダーソンの英国大学拡張報告」,『今治明德短期大学紀要』,第16集,今治明德短期大学,1984,1-21。
- ・佐伯信男,「明治期における図書館の教育機能について」,『地域の中の生涯学習』(日本生涯教育学会年報第5号),ぎょうせい,1984,131-149。
- ・佐藤晴雄,「イギリスの対ドイツ占領教育政策―青年活動の復興―」,『教育学研究年報』,第4号,東京学芸大学教育学教室,1985,110-116。
- ・山本恒夫,「芸能・遊び」,『歴史読本スペシャル』,第12号,新人物往来社,1985,321-330。

V 編纂書論文

- ・山本恒夫,「日本の社会教育―明治・大正・昭和(戦前)」,伊藤俊夫・河野重男・

- 辻 功編『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 56—63。
- ・山本恒夫, 「歴史的研究の意義」, 伊藤俊夫・河野重男・辻 功編, 『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 44—49。
 - ・香川正弘・元木 健, 「生涯教育と高等教育—大学拡張事業—」, 元木 健・諸岡和房編, 『生涯教育の構想と展開』, 第一法規, 1984, 195—221。
 - ・三浦清一郎, 「アメリカ合衆国の社会教育史」, 国立社会教育研修所編, 『外国の社会教育史シリーズ1』, 国立社会教育研修所, 1984, 1—25。
 - ・佐伯信男, 「生涯教育の観点からみた—図書館の教育性の史的考察(上)」, 佐伯信男編著, 『社会教育施設論 I』(私家版), 教友社, 1985, 1—180。
 - ・Kagawa, Masahiro, TAZAWA Yoshiharu(1885—1944), in J. E. Thomas and Barry Elsay (Ed.), *International Biography of Adult Education*, Dept. of Adult Education, University of Nottingham, 1985, 582—586。

1—c 生涯教育の内容

I 著書

- ・瀬沼克彰, 『余暇教育の出発』, 学友社, 1985。

II 編書

- ・岡本包治編, 『学習プログラム—立案・展開・評価—』(講座現代の社会教育第3巻), ぎょうせい, 1980。
- ・稲生勳吾編著, 『社会教育概論』, 樹村房, 1985, 119—144。

IV 雑誌論文

- ・池田秀男, 「生涯教育における基礎教育」, 『教育社会学研究』, 第35集, 東洋館, 1980, 36—46。
- ・稲生勳吾, 「発達課題と生涯教育—社会的アプローチ—」, 『生涯教育体系の構想』(日本生涯教育学会年報第2号), ぎょうせい, 1981, 27—49。
- ・稲生勳吾, 「公民館における学習要求調査の方法に関する一試論」, 『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号), ぎょうせい, 1983, 125—134。
- ・岡本包治, 「公民館における学習プログラムの診断—学習課題を中心として」, 『月刊公民館』, 第322号, 全国公民館連合会, 1984, 5—9。
- ・池田秀男, 「市民生活のための学習課題と変革の動向」, 『社会教育』, 第40巻第

5号, 全日本社会教育連合会, 1985, 73-78。

V 編纂書論文

- ・岡本包治, 「学習要求と学習必要の把握」, 岡本包治編著, 『学習プログラム—立案・展開・評価—』(講座現代の社会教育第3巻), ぎょうせい, 1980, 83-90。
- ・有馬広実, 『「成人の学習領域」研究のための基礎資料』(中間まとめ), 国立社会教育研修所, 1983。
- ・三浦清一郎, 「成人教育の目標と内容についての一考察」, 国立社会教育研修所編, 『社会教育の目標と内容—その1—』, 国立社会教育研修所, 1983, 35-53。
- ・池田秀男, 「教育内容の編成」, 伊藤俊夫・河野重雄・辻 功編, 『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 280-285。
- ・稲生勁吾, 「成人教育の学習内容の選択と編成の視点」, 国立社会教育研修所編 『社会教育の目標と内容』, 国立社会教育研修所, 1983, 93-116。

VI 調査報告

- ・香川正弘, 「地域における生涯教育調査—昨年1年間の学習内容」, 『社会教育指導充実強化事業報告書〔昭56佐(1)〕』, 佐賀県教育委員会, 1982, 36-57。
- ・稲生勁吾, 『「成人の学習領域」研究のための基礎資料』(中間まとめNo.1), 『国立社会教育研修所研究資料』, 国立社会教育研修所, 1983。
- ・稲生勁吾, 『「成人の学習領域」研究のための基礎資料』(中間まとめNo.2), 『国立社会教育研修所研究資料』, 国立社会教育研修所, 1983。
- ・香川正弘・進藤宗洋, 「社会保険福祉サービスセンター(仮称)のプログラム編成の具体的展開」, 『社会保険福祉サービスセンター(仮称)の有効利用の方策に関する調査研究報告書』, 財団法人佐賀経済調査協会, 1983, 141-222。

1-d 生涯教育の方法

II 編書

- ・岡本包治編, 『社会教育事業—企画・運営・評価—』(講座現代の社会教育第2巻), ぎょうせい, 1980。
- ・岡本包治編, 『社会教育職員必携—社会教育の指導と事務—』(講座現代の社会

教育第7巻), ぎょうせい, 1980。

- ・岡本包治編,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻), ぎょうせい, 1981。

IV 雑誌論文

- ・由利忠四郎,「社会教育関係団体への援助の視点」,『社会教育』,第35巻第10号,全日本社会教育連合会,1980,17-21。
- ・岡本包治,「住民感覚で編成する公民館事業—広報活動と学級講座を中心として」,『月刊公民館』,292号,全国公民館連合会,1981,5-9。
- ・浅井経子,「社会教育指数のつくり方」,『社会教育』,第38巻第10号,全日本社会教育連合会,1982,61-80。
- ・池田秀男,「学習機会拡充方策モデル開発のための作業仮説」,『広島大学教育学部紀要』,第1部第30号,広島大学教育学部,1982,62-77。
- ・岡本包治,「事業編成論—住民の声をどう取り上げるか」,『月刊公民館』,314号,全国公民館連合会,1983,5-9。
- ・山本恒夫,「社会教育の指標作成と評価」,『社会教育』,第38巻第10号,全日本社会教育連合会,1983,5-11。
- ・山本恒夫,「ソフト技術の開発が大きな課題」,週刊ダイヤモンド別冊『日本の未来技術800』(昭和58年3月),ダイヤモンド社,1983,72-75。
- ・池田秀男,「生涯教育の推進システムとは何か」,『生涯教育の推進システム』(日本生涯教育学会年報第6号),ぎょうせい,1985,3-20。
- ・岡本包治,「生涯教育をめざす社会教育事業の方向」,『社会教育』,第40巻第463号,全日本社会教育連合会,1985,5-9。
- ・半田次男,「生涯学習社会形成に関する方法論について」,『地域経済研究年報』,第20巻,地域経済研究会,1985,1-17。

V 編纂書論文

- ・岡本包治,「社会教育事業の種類と構造」,岡本包治編著,『社会教育事業—企画・運営・評価—』(講座現代の社会教育第2巻),ぎょうせい,1980,6-16。
- ・岡本包治,「学習プログラム立案の手順と留意点」,岡本包治編著,『学習プログラム—立案・展開・評価—』(講座現代の社会教育第3巻),ぎょうせい,1980,64-82。
- ・伊藤俊夫,「個人学習援助の方法」,日高幸男編,『社会教育実践の方法・技術』,全日本社会教育連合会,1981,74-85。

- ・岡本包治,「社会教育調査の技法」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,10—27。
- ・岡本包治,「討議と助言の仕方」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,38—50。
- ・岡本包治,「社会教育指導法のいろいろ」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,68—72。
- ・岡本包治,「学級・講座の企画と運営」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,84—100。
- ・岡本包治,「社会教育における趣味学習の扱い方」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,102—113。
- ・岡本包治,「社会教育専門職員の研修計画と展開」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,143—153。
- ・岡本包治,「青年教育施設の指導活動—集団研修におけるリクリエーション指導の意義と役割」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,175—186。
- ・岡本包治,「現代リーダー論」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,188—204。
- ・岡本包治,「社会教育団体活動のポイント」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,205—215。
- ・岡本包治,「団体リーダーの役割」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,216—231。
- ・岡本包治・山本恒夫,「魅力ある社会教育事業の条件とその診断方法」,岡本包治編著,『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻),ぎょうせい,1981,73—83。
- ・山本恒夫,「社会教育調査の方法・技術」,日高幸男編,『社会教育実践の方法・技術』,全日本社会教育連合会,1981,17—28。
- ・伊藤俊夫,「社会教育の意義」,社会教育連合会編,『新編社会教育必携』,社会教育連合会,1983,11—16。
- ・三浦清一郎,「社会教育の計画法」,伊藤俊夫・河野重男・辻 功編,『新社会教育事典』,第一法規,1983,261—266。
- ・山本恒夫,「社会教育における視聴覚教育の現状と課題」,文部省視聴覚教育課編,『昭和58年度視聴覚教育指導者講座』,文部省視聴覚教育課,1983,127—135。
- ・三浦清一郎,「成人教育の編成と方法」,元木 健・諸岡和房編,『生涯教育の構

- 想と展開』(教育学研修講座13), 第一法規, 1984, 115—138。
- ・佐々木正治, 「生涯教育の推進とアウトリーチ」, 岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育のアイディアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4), ぎょうせい, 1985, 258—267。
 - ・渋谷英章, 「ノンフォーマル・エデュケーション」, 岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育のアイディアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4), ぎょうせい, 1985, 268—280。
 - ・山本恒夫, 「社会教育における視聴覚教育の現状と課題」, 文部省学習情報課編『昭和60年度視聴覚教育の現状と課題』, 文部省学習情報課, 1985, 109—118。

1—e 自己(管理的)学習

I 著書

- ・街道孝志, 『走快記—早朝ランニング10年の体験』, 街道孝志, 1983年。
- ・街道孝志, 『爽快記—生涯青年の人生』, 街道孝志。

V 編纂書論文

- ・関口 勇, 「学ぶということ—これからの社会教育—」, 『あらかわの社会教育』, 東京都荒川区教育委員会, 1984, 37—40。
- ・池田秀男, 「自己管理的学習論」, 新堀通也編, 『現代生涯教育の研究』, ぎょうせい, 1985, 15—30。

1—f ライフ・サイクル論

IV 雑誌論文

- ・池田秀男, 多々納道子, 「ライフサイクル第二期女性の学習課題と社会教育」, 『広島大学教育学部紀要』, 第1部29巻, 広島大学教育学部, 1981, 61—67。
- ・葛原生子, 「ライフサイクル論と成人教育—成人の学習内容の解明を中心に」, 『生涯教育の推進システム』(日本生涯教育学会年報第6号), ぎょうせい, 1985, 151—168。

V 編纂書論文

- ・池田秀男,「ライフサイクル論」,新堀通也編,『社会教育学』(現代教育学シリーズ11),有信堂,1981,239—259。
- ・葛原生子,「女性のライフサイクルと発達課題」,池田秀男編著,『婦人問題学習ハンドブック』,ぎょうせい,1984,88—106。

1—g 学習社会論

IV 雑誌論文

- ・赤尾勝己,「我が国への生涯教育論導入をめぐる一考察」,『慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要』,第24号,1984,77—86。
- ・赤尾勝己,「生涯教育理論の新しいパラダイム」,『生涯教育の推進システム』(日本生涯教育学会年報第6号),ぎょうせい,1985,121—134。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「青少年と学習社会」,伊藤俊夫・山本恒夫・吉川 弘編,『生涯教育と青少年教育』,ぎょうせい,1981,169—186。
- ・池田秀男,「学習社会論からみた状況と展望」,伊藤三次編,『生活構造の変容と社会教育』(日本の社会教育第28集),東洋館出版社,1984,192—201。

1—h その他

I 著 書

- ・池田景一,『もう非行はおこらない,原因は目にあった』,華書房,1984。

II 編 書

- ・麻生 誠・池田秀男編,『教育革新と教育計画』(教育学研修講座1),第一法規,1984。

IV 雑誌論文

- ・水谷 修,「社会教育指標の活用のしかた」,『社会教育』,第38巻第10号,全日

- 本社会教育連合会, 1983, 81—93。
- ・水谷 修, 「社会教育事業計画に関する実証的研究—公民館における学級講座を規定する要因分析をとおして」, 『筑波大学教育学系論集』, 第8巻1号, 筑波大学教育学系, 1983, 63—79。
 - ・赤尾勝巳, 「教育管理の社会的基底に関する一考察」, 慶応義塾大学三田哲学会『哲学』, 第80集, 1985, 149—172。

V 編纂書論文

- ・池田秀男, 「社会化の視点からみた教育」, 友田泰正編, 『教育社会学』(現代教育学シリーズ2), 有信堂, 1982, 42—59
- ・伊藤俊夫, 「都市の社会教育」, 久保庭信一編, 『都市の教育・文化』(新時代の都市政策11), ぎょうせい, 1982, 42—59。
- ・Hideo Ikeda, Social Education: Definition, Description and Recent Research, *Education in Japan* Vol-X, Faculty of Education Hiroshima University, 1983, 37—46。
- ・伊藤俊夫, 「社会教育と家庭教育—生涯教育展開の場—」, 坂元弘直編, 『公教育と学校』(学校管理講座第1巻), 第一法規, 1984, 277—299。
- ・有馬広美, 「余暇学習グループの最近の動向」, 「余暇学習の実践事例に関する調査研究」(研究代表 湯上二郎), 日本余暇文化振興会, 1985, 17—27。

2. 生涯教育と青少年教育

I 著 書

- ・瀬沼克彰, 『地域活動と青少年』, 大明堂, 1984。

II 編 書

- ・岡本包治編, 『青少年の学習—活動と指導—』(講座現代の社会教育第4巻), ぎょうせい, 1980。
- ・伊藤俊夫・山本恒夫・吉川 弘編著, 『生涯教育と青少年教育』, ぎょうせい, 1981。
- ・岡本包治・福留 強・矢萩操編著, 『学校・家庭・地域と非行防止—青少年健全育成の実践から』, ぎょうせい, 1983。
- ・宮沢純太郎編, 『家庭教育, 学校教育, 社会教育の役割を考える』, 山梨県教育

委員会, 1983。

IV 雑誌論文

- ・池田秀男,「青少年教育の課題と社会教育学的接近法」,『広島大学教育学部紀要』第1部28巻, 広島大学教育学部, 1980, 133-142。
- ・岡本包治,「青年にとっての家庭生活」,『青年心理』, 18号, 金子書房, 1980, 46-52。
- ・押谷由夫,「変動社会における子どもの社会教育の展開」,『研究紀要』, 第10号, 高松短期大学, 1980, 1-15。
- ・角替弘志,「少年自然の家における教育効果」,『社会教育』, 第35巻第11号, 全日本社会教育連合会, 1980, 23-29。
- ・角替弘志,「少年教育における『学習』概念と学習行動」,『静岡大学教育学部研究報告・人文社会科学篇』, 第30号, 静岡大学教育学部, 1980, 121-130。
- ・角替弘志,「青年期による能力育成と体験」,『月刊高校教育』, 第13巻第10号, 学事出版, 1980, 6-13。
- ・岡本包治,「夏の活動の意義と展開」,『月刊子ども会』, 10号, 全国子ども会連合会, 1981, 17-20。
- ・押谷由夫,「文化施設における学校外教育の可能性に関する調査・研究」,『研究紀要』, 第11号, 高松短期大学, 1981, 1-14。
- ・伊藤俊夫,「豊かな生活体験」,『法と政策』, No.15(8月号), 第一法規, 1982, 21-26。
- ・岡本包治,「青少年問題の根源追求とその克服」,『社会教育資料』, 82号, 広池学園出版部, 1982, 64-75。
- ・岡本包治,「青少年育成と地域づくり活動」(その1)(その2),『月刊公民館』第298・299号, 全国公民館連合会, 1982, 5-10, 23-26。
- ・押谷由夫,「子どもの学習コミュニティづくりへの一視点」,『研究紀要』, 第12号, 高松短期大学, 1982, 35-46。
- ・佐伯信男,「在学少年を対象とした社会教育の活動」,『KKG ジャーナル』, 5月号, 開隆堂, 1982, 33-36。
- ・水谷 修,「近代日本人の自己形成と修養論~明治初期~大正初期」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号), ぎょうせい, 1982, 307-322。
- ・宮沢純太郎,「ゆたかな子どもを育てる団体(集団)活動」,『青少年のための明るい地域社会をつくろう・家庭教育セミナー資料3』, 山梨県教育委員会, 1982, 42-48。

- ・岡本包治,「活動の評価とは何か」,『月刊子ども会』,29号,全国子ども会連合会,1983,12—15。
- ・榊田 馨,「道徳性形成の場としての生活環境の教育的機能」,『東洋英和女学院短期大学 1983年度研究紀要』,東洋英和女学院短期大学,1983,15—36。
- ・水谷 修,「修養論の構造—日露戦争後から第二次大戦までを中心に—」,『筑波大学教育学研究集録』,第6集,筑波大学大学院教育学研究科,1983,75—85。
- ・伊藤俊夫,「高校生のボランティア活動」,『文部時報』,第1285号,ぎょうせい,1984,34—38。
- ・山本恒夫,「社会の変化と幼児性」,『中学校学級担任』,第4巻第10集,1984,5—12。
- ・山本恒夫,「社会参加の教育的意義」,『文部時報』,第1285号,ぎょうせい,1984,4—7。
- ・斎藤哲瑯,「少年の自然体験・生活体験の実態」,『青少年問題』,6月号,(財)青少年問題研究会,1985,22—28。
- ・斎藤哲瑯,「自然・生活体験に乏しい子どもたち」,『社会教育』,第40巻第8号,全日本社会教育連合会,1985,13—20。
- ・山本恒夫,「青少年教育の振興」,『社会教育』,第248号,福島県教育委員会,1985,2—5。
- ・角替弘志,「公民館活動と青少年」,『月刊公民館』,第315号,全国公民館連合会,11—17。

V 編纂書論文

- ・稲生勁吾,「現代青少年の意識と行動」,岡本包治編著,『青少年の学習—活動と指導—』(講座現代の社会教育第4巻),ぎょうせい,1980,24—36。
- ・岡本包治,「地域における青少年育成の意義と行政課題」,岡本包治編著,『青少年の学習—活動と指導—』(講座現代の社会教育第4巻),ぎょうせい,1980,1—21。
- ・浅井経子,「青少年の生活指導」,平沢 薫・荒井弥生・浅井経子著,『現代教育学』,八千代出版社,1981,213—238。
- ・浅井経子・水谷 修,「明治・大正・昭和の青少年意識—将来に対する期待—」,伊藤俊夫,山本恒夫,吉川 弘編著,『生涯教育と青少年教育』,ぎょうせい,1981,249—299。
- ・伊藤俊夫,「青少年教育の行政的条件」,伊藤俊夫・山本恒夫・吉川 弘編著,『生涯教育と青少年教育』,ぎょうせい,1981,53—63。

- ・伊藤俊夫,「青少年教育の経済的条件」,伊藤俊夫・山本恒夫・吉川 弘編著,『生涯教育と青少年教育』,ぎょうせい,1981,38—53。
- ・角替弘志,「青少年教育の施設」,伊藤俊夫・山本恒夫・吉川 弘編著,『生涯教育と青少年教育』,ぎょうせい,1981,63—76。
- ・宮沢純太郎,「子どもを育てる地域の教育活動」,『たくましい心豊かな人づくり』(家庭教育総合セミナー資料2),山梨県教育委員会,1981,25—32。
- ・山本恒夫,「青少年教育の効果」,伊藤俊夫・山本恒夫・吉川 弘編著,『生涯教育と青少年教育』,ぎょうせい,1981,223—248。
- ・吉川 弘,「生涯教育の中の青少年教育」,伊藤俊夫・山本恒夫・吉川 弘編,『生涯教育と青少年教育』,ぎょうせい,1981,3—25。
- ・浅井経子,「青年期の教育と課題—現代青年と社会的課題」(はじめに,(1),(2),(3),(4),(5)),下山田裕彦・山本恒夫・前田敏雄・岡本富郎・堀 智晴・浅井経子著,『現代の教育と人間形成』,川島書店,1982,139—162。
- ・角替弘志,「青少年教育の目標設定の視点—公民館とのかかわりから—」,『社会教育の目標と内容—その1—』,国立社会教育研修所,1982,55—65。
- ・岡本包治,「“自然とのかかわり”を深めるための活動プログラム開発の視点と実施上の留意点」,国立諫早少年自然の家『少年自然の家における効果的な教育活動に関する調査研究』,国立諫早少年自然の家,1983,55—68。
- ・岡本包治,「青少年教育の今後の課題—地域ぐるみで取り組もう」,岡本包治・福留 強・矢萩 操編著,『学校・家庭・地域と非行防止』,ぎょうせい,1983,266—277)。
- ・岡本包治,「現代の青少年教育と地域づくり」,岡本包治・福留 強・矢萩 操編著,『学校・家庭・地域と非行防止』,ぎょうせい,1983,1—12。
- ・押谷由夫,「人間の発達と集団」(児童期),高旗正人・住岡英毅・讃岐幸治編,『人間発達の社会学』,アカデミア出版会,1983,165—183。
- ・山本恒夫,「ドイツの社会教育史」,国立社会教育研修所編,『外国の社会教育史シリーズ2』,国立社会教育研修所,1984,27—46。
- ・斎藤哲郎,「II・指導者養成としての研修」,佐々木実・坂口順治編,『青少年の成長と集団宿泊生活』,第一法規,1985,159—169。
- ・三浦清一郎,「少年団体活動における学・社連携の主要局面とメリット」,国立社会教育研修所編,『学・社連携の主要局面とメリット』,第一集,国立社会教育研修所,1985,14—29。

VI 調査報告

- ・ 稲生勁吾、「社会教育計画上の留意点（第一部・小学生・中学生・高校生、第二部・青年・男子成人・婦人・高齢者）」、『柏市社会教育の現状と課題』、柏市教育委員会、1980、9—92。
- ・ 吉川 弘、「青年のグループ活動に関する調査」、『新潟大学教育学部紀要』、第22巻、新潟大学教育学部、1980、21—30。
- ・ 吉川 弘、「青年の学習活動」、『新潟教育学会研究年報』、第5号、新潟教育学会、1981、127—139。
- ・ 国立諫早少年自然の家、『少年自然の家における効果的な教育活動に関する調査・研究第1年次報告～第3年次報告』、国立諫早少年自然の家、1981—83。
- ・ 浅井経子、「子どもの行動特性」、『中野区児童・生徒の意識と行動に関する調査』、東京都中野区教育委員会、1984、55—88。
- ・ 水谷 修、「子どもの異性観・同性観」、『中野区児童・生徒の意識と行動に関する調査』、東京都中野区教育委員会、1984、88—119。
- ・ 水谷 修、「将来への期待にみられる子どもの意識」、『中野区児童・生徒の意識と行動に関する調査』、東京都中野区教育委員会、1984、121—139。
- ・ 山本恒夫、『中野区児童・生徒の意識と行動に関する調査—概要報告書』、東京都中野区教育委員会、1984。
- ・ 山本恒夫、「逸脱意識傾向と暴力傾向」、『中野区児童・生徒の意識と行動に関する調査』、東京都中野区教育委員会、1984、28—34。
- ・ 斎藤哲那、『少年の自然体験・生活体験等の実態調査』、国立那須甲子少年自然の家、1985、1—60。
- ・ 吉川 弘、「青年のグループ活動への期待と効果」、『新潟教育学会研究年報』、第6号、新潟教育学会、1985、85—101。

3. 生涯教育と成人教育（婦人教育も含む）

I 著書

- ・ 三浦清一郎、『成人の発達と生涯学習』、ぎょうせい、1982。

II 編書

- ・ 岡本包治編、『成人の学習—活動と援助—』（講座現代の社会教育第5巻）、ぎょうせい、1982。

うせい, 1980。

- ・池田秀男編,『婦人問題学習ハンドブック』,ぎょうせい,1984。

IV 雑誌論文

- ・浅井経子,「成人の学習行動—生活行動との関係について—」,『生涯教育の展開』(日本生涯教育学会年報第1号),ぎょうせい,1980,257—272。
- ・岡本包治,「婦人の課題と学習計画」,『女性教養』,503号,日本女子社会教育会,1980,5—7。
- ・佐々木隆介・野田豊子・古崎和代,「女性の生活意識と生涯教育」,『藤女子大学・藤女子短期大学紀要』,第18号第2部,藤女子大学・藤女子短期大学,1980,77—93。
- ・山本恒夫,「社会教育と日本人の学習—その動向と生涯教育とのかかわり」,『地域開発ニュース』,第140号,東京電力,1980,21—26。
- ・池田秀男,「女性の発達課題と生涯教育」,『生涯教育体系の構想』(日本生涯教育学会年報第2号),ぎょうせい,1981,115—138。
- ・香川正弘,「18世紀イギリスにおける自己学習のためのジェントルマンズ・ソサイエティの発達(1)(2)」,『佐賀大学教育学部研究論文集』,第29集第1号(1)第30集第2号(1),佐賀大学教育学部,1981,21—35,17—32。
- ・辻 功・山本恒夫・浅井経子・水谷 修,「成人の学習可能性」,『生涯教育体系の構想』(日本生涯教育学会年報第2号),ぎょうせい,1981,201—229。
- ・浅井経子,「若い女性の意識と学習課題」,『社会教育』,第37巻第11号,全日本社会教育連合会,1982,5—10。
- ・池田秀男,「婦人の学習機会の拡充方策—広島県福山市における実験研究事業の中間報告」,『社会教育』,第37巻第5号,全日本社会教育連合会,1982,97—112。
- ・浅井経子,「学習行動の規定要因—埼玉県公民館利用の場合」,『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号),ぎょうせい,1983,179—191。
- ・池田秀男,「婦人の学習機会の拡充方策—広島県福山市における実験研究事業の中間報告(続)」,『社会教育』,第38巻第2号,全日本社会教育連合会,1983,93—115。
- ・葛原生子,「成人の学習過程における自己概念の研究」,『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号),ぎょうせい,1983,149—162。
- ・住岡英毅,「成人教育の対話的側面—パウロ・フレイレの所論を中心として—」,『滋賀大学教育学部紀要(人文・社会・教育科学)』,第33号,滋賀大学教育

学部, 1983, 93-104。

- ・藤岡英雄, 「“目的” からみた成人の学習 (学習関心調査・報告 2) 」, 『NHK 放送研究と調査』, 10月号, 日本放送出版協会, 1983, 29-37。
- ・三浦清一郎, 「婦人を取りまく社会情勢と婦人の学習」, 『社会教育』, 第38巻第3号, 全日本社会教育連合会, 1983, 13-15。
- ・池田秀男, 「消費者教育 3, 社会教育」, 『消費科学』, 第25巻第11号, 日本繊維製品消費科学会, 1984, 84-86。
- ・池田秀男・寺田恕子・前田端枝, 「鼎談・主婦の再就職—その教育・学習を考える—」, 『婦人教育情報』, No.10, 国立婦人教育会館, 1984, 8-15。
- ・井上豊久, 「F・ペグラーの成人教育学〔I〕—成人教育の概念・諸前提・目的」, 『教育学研究紀要』, 第29巻, 中国四国教育学会, 1984, 77-79。
- ・塩崎千枝子, 「学歴と既婚女性の就業行動」, 『国立教育研究所研究集録』, 国立教育研究所, 1984, 87-98。
- ・住岡英毅, 「学習コミュニティの活性化を」, 『社会教育』, 第39巻428号, 全日本社会教育連合会, 1984, 17-21。
- ・角替弘志・馬居政幸, 「成人の学習行動の分析に関する基礎的研究(1)—御殿場市における生涯教育調査を中心として—」, 『静岡大学教育学部研究報告—教科教育学篇—』, 第15号, 静岡大学教育学部, 1984, 167-180。
- ・藤岡英雄, 「学ぶ日本人のプロフィール—成人学習の諸類型— (学習関心調査・報告 4) 」, 『NHK 放送研究と調査』, 5月号, 日本放送出版協会, 1984, 36-42。
- ・山本和代・田中里子・藤原房子・池田秀男・前田端枝, 「婦人教育の課題と展望」, 『文部時報』, 第1304号, ぎょうせい, 1985, 8-26。
- ・三浦清一郎, 「成人の発達と『自分自身観』」, 『部落啓発情報』, No.20, 社会法人部落解放研究所, 1984, 36-48。
- ・岡本包治, 「婦人の社会参加のいろいろ (その1) (その2)」, 『社会教育資料』 95号, 96号, 広池学園出版部, 1985, 118-127, 128-137。
- ・岡本包治, 「婦人の社会参加について」, 『社会教育資料』, 94号, 広池学園出版部, 1985, 84-93。
- ・塩崎千枝子, 「成人女性の生活時間と生涯学習」, 『教育社会学研究』, 第40集, 日本教育社会学会, 1985, 111-125。

V 編纂書論文

- ・岡本包治, 「婦人団体の年間活動 (学習) 計画—考え方・つくり方」, 岡本包治

- 編著、『成人の学習—活動と援助—』（講座現代の社会教育第5巻）、ぎょうせい、1980、120—147。
- ・岡本包治、「住民による学級の企画・運営—家庭教育学級の場合」、岡本包治編著、『社会教育職員必携—社会教育の指導事務—』（講座現代の社会教育第7巻）ぎょうせい、1980、70—73。
 - ・山本恒夫、「成人の学習課題探求法—成人教育の科学化—」、岡本包治編著、『成人の学習—活動と援助—』（講座現代の社会教育第5巻）、ぎょうせい、1980、21—36。
 - ・山本恒夫、「生涯各期の学習課題(3)成人一般の学習課題」、古野有隣、伊藤俊夫・吉川 弘・山本恒夫編著、『現代社会教育の展開』、文教書院、1980、65—71。
 - ・岡本包治、「男子成人教育への取り組み」、岡本包治編著、『社会教育の基礎技術』（講座現代の社会教育第1巻）、ぎょうせい、1981、114—125。
 - ・香川正弘、「婦人教育」、新堀通也編、『社会教育学』、有信堂高文社、1981、154—174。
 - ・池田秀男、「生涯教育と婦人教育の課題」、『昭和57年度婦人教育指導者研修資料1』、山口県教育委員会、1982、1—17。
 - ・池田秀男、「アンドラゴジーの視座」、伊藤俊夫・河野重男・辻 功編、『新社会教育事典』、第一法規、1983、31—37。
 - ・池田秀男・堀 薫夫、「生涯教育と成人教育」、元木 健・諸岡和房編著、『生涯教育の構想と展開』（教育学研修講座13）、第一法規、1984、87—114。
 - ・浅井経子、「生涯学習の構造」、岡本包治・山本恒夫編、『生涯教育とは何か（課題から実践へ）』、ぎょうせい、1985、189—222。

VI 調査報告

- ・浅井経子、「学習活動」((1)(2)(3))、藤原町教育委員会『藤原町の町民意識と学習意欲に関する調査』、藤原町教育委員会、1980、8—31。
- ・池田秀男、「個性的な学習活動の自主運営と展開—NHK 福山婦人学級の場合」、『生涯教育の実践事例に関する調査研究』、日本余暇文化振興会、1980、60—68。
- ・水谷 修、「学習希望」、『藤原町住民の町民意識と学習意欲に関する調査』、栃木県藤原町教育委員会、1980、39—64。
- ・池田秀男・佐々木正治・葛原生子、『昭和55年度婦人の学習機会の拡充方策研究委嘱中間まとめ』、文部省社会教育局婦人教育課、1981。
- ・池田秀男・佐々木正治・葛原生子、『婦人の学習機会の拡充方策研究委嘱第1年

- 次報告書』、文部省社会教育局婦人教育課、1982、97-260。
- ・池田秀男・佐々木正治・津川 淳・葛原生子、『婦人の学習機会拡充方策研究事業実施報告書』、広島県福山市教育委員会、1982。
 - ・浅井経子、「文化活動の実態」、常陽芸文センター編、『県民の文化に関する意識と活動の調査—茨城—』、常陽芸文センター、1983、75-109。
 - ・田中雅文、「女性の多様化と家庭—懸賞文応募作品から—」、三井情報開発編、『サービス経済化の進展と家庭構造の変容—女性の役割と行動を中心として—』、総合研究開発機構、1983、153-175。
 - ・水谷 修、「文化活動に対する期待の構造と類型」、常陽芸文センター編、『県民の文化に関する意識と活動の調査—茨城—』、常陽芸文センター、1983、139-177。
 - ・山本恒夫、「国民と県民の比較」、常陽芸文センター編、『県民の文化に関する意識と活動の調査—茨城—』、常陽芸文センター、1983、182-194。
 - ・田中雅文、「フランス児童文学のグループ」、『余暇学習に関する事例の体系化についての調査研究』、(財)日本余暇文化振興会、1984、61-66。
 - ・稲生勁吾、「市民館・図書館に対する関心」、川崎市教育委員会編、『川崎市男子成人の生活と学習意識』、川崎市教育委員会、1984、38-57。
 - ・大森秀子、「被調査者の概況とその生活」、「自己の学習に対する関心」、川崎市教育委員会編、『川崎市男子成人の生活と学習意識』、川崎市教育委員会、1984、8-20、67-77、84-85。
 - ・田中雅文、『自主運営の公開講座—横浜市たんぽぽの家運営委員会—』、『余暇学習に関する事例の体系化についての調査研究』、(財)日本余暇文化振興会、1984、21-29。
 - ・成田直子、「地域社会に対する関心」、川崎市教育委員会編、『川崎市男子成人の生活と学習意識』、川崎市教育委員会、1984、21-36。
 - ・成田直子、「家族の学習に対する関心」、川崎市教育委員会、1984、58-65。
 - ・水谷 修、「学習活動と学習希望』、『社会教育基本調査報告書』、茨城県桜村教育委員会、1984、12-46。
 - ・吉川 弘「都市化の進行と婦人の学習要求』、『新潟大学教育学部紀要』、第26巻第1号、新潟大学教育学部、1984、9-19。
 - ・稲生勁吾、「市民館・図書館の利用」、川崎市教育委員会編、『川崎市男子成人の学習環境と学習意識』、川崎市教育委員会、1985、105-148。
 - ・大森秀子、「男子成人の生活」、「職場における学習』、川崎市教育委員会編、『川崎市男子成人の学習環境と学習意識』、川崎市教育委員会、1985、7-36、71

—80。

- ・角替弘志, 「青年・婦人の学習と生活—その意識と行動—」, 『浜松市青年婦人会館十周年記念誌』, 浜松市青年婦人会館, 1985, 44—65。
- ・成田直子, 「地域社会における学習」, 川崎市教育委員会編, 『川崎市男子成人の学習環境と学習意識』, 川崎市教育委員会, 1985, 79—103。
- ・成田直子, 「家庭における学習」, 川崎市教育委員会編, 『川崎市男子成人の学習環境と学習意識』, 川崎市教育委員会, 1985, 81—94。

4. 生涯教育と高齢者教育

I 著書

- ・平沢 薫・荒井弥生・浅井経子共著, 『現代教育学』, 八千代出版社, 1981。
- ・斎藤清三, 『高齢社会への対応をどうするか』, 第一法規, 1982。
- ・鈴木円乘, 『老いを楽しく暮らすには』, 中央法規出版株式会社, 1984。

IV 雑誌論文

- ・岡本包治, 「高齢化社会と生涯学習」, 『社会教育資料』, 83号, 広池学園出版部, 1982, 30—39。
- ・瀬沼克彰, 「生涯学習の問題点とアドバイス」, 『チャプリン』, 5月号, 日本エイジング, 1983, 36—40。
- ・稲生勁吾, 「高齢者の社会参加」, 『かんぽ資金』, 6月号簡保資金研究会, 1984, 28—31。
- ・西下彰俊, 「高齢者教育の現状と課題」, 『老人福祉研究』, 第9巻, 日本老人福祉財団, 1985, 13—27。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫, 「高齢者の学習課題」, 伊藤俊夫ほか編, 『現代社会教育の展開』, 文教書院, 1980, 77—83。
- ・岡本包治, 「高齢者教室の編成とプログラム」, 岡本包治編著, 『学習プログラム—立案・展開・評価—』(講座現代の社会教育第3巻), ぎょうせい, 1980, 170—181。
- ・伊藤俊夫, 「高齢者教室」, 日高幸男編, 『社会教育実践の方法・技術』, 全日本社会教育連合会, 1981, 179—188。

- ・稲生勁吾,「発達課題と社会教育」,伊藤俊夫・河野重男・辻 功編,『新社会教育事典』,第一法規,1983,199-205。
- ・稲生勁吾,「高齢者教育の内容」,『国立社会教育研修所研修資料』,58-17,国立社会教育研修所,1984,1-18。
- ・山本恒夫,『高齢者教育の目標』(高齢者教育シリーズ3-2),国立社会教育研修所,1984,(編纂書の分冊化でV扱い)。
- ・香川正弘,「おかやま社会保険センター運用」,『おかやま社会保険センターの運用に関する調査研究』,財団法人岡山県社会保険協会,1985,149-201。
- ・田中雅文,「高齢者を対象とした学習プログラムの実態」,『高齢者の余暇学習に関する学習プログラムの研究開発』,(財)日本余暇文化振興会,1985,19-31。
- ・吉川 弘,「高齢者の学習要求—新潟県大潟町の調査から—」,『新潟大学教育学部紀要』,第27巻第1号,新潟大学教育学部,1985,1-8。

5. 生涯教育と社会体育・スポーツ

IV 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「学校開放の戦後史」,『みんなのスポーツ』,No.14(6月号),日本体育社,1980,4-5。
- ・西野 仁,「社会体育と生涯教育」,『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号),ぎょうせい,1983,81-100。

V 編纂書論文

- ・西野 仁,「生涯スポーツ・レクリエーションの振興」,岡本包治・山本恒夫編,『生涯教育のアイディアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4),ぎょうせい,1985,119-142。

6. 生涯教育と家庭教育

I 著書

- ・池田秀男,『子どもへの教育期待と親の役割』,広島県新市町中央中学校,1983。
- ・篠田 磐,『幼児のマス・コミ環境—何をえらび出すか—』,学芸図書,1983。

IV 雑誌論文

- ・池田秀男,「生涯教育における家庭教育の位置と重要性」,『社教ひろしま』,30号,広島県社会教育委員連絡協議会,1984,2-7。
- ・市川 昌,「偏差値教育を考える」,『おかあさんの勉強室』,8月号,日本放送出版協会,1984,96-107。
- ・市川 昌,「どうする子どもの成人病」,『おかあさんの勉強室』,12月号,日本放送出版協会,1984,80-89。
- ・伊藤俊夫,「社会教育からの期待—幼児の家庭教育を考える—」,『信濃教育』,No.1167,信濃教育会,1984,4-7。
- ・岡本包治,「生涯教育としての家庭教育」,『女性教養』,540号,日本女子社会教育会,1984,2-4。
- ・村上雅啓,「乳幼児の母子関係と道徳性発達の基盤」,『モラロジー研究』,17号,財団法人モラロジー研究所,1984,91-122。
- ・押谷由夫,「母親のテレビ視聴行動と子どもの社会化に関する研究」,『生涯教育の推進システム』(日本生涯教育学会年報第6号),ぎょうせい,1985,135-149。
- ・押谷由夫,「母親の「子ども評価」を規定する要因に関する一考察」,『保育学会年報』,第23巻,フレーベル館,1985,132-144。

V 編纂書論文

- ・宮沢純太郎,「家庭のなかの人間関係」,山梨県教育委員会『たくましい心豊かな人づくり』,山梨県教育委員会,1980,38-50。
- ・山本恒夫,「情報化社会と家庭教育」,河野重男・依谷正樹編,『21世紀への家庭教育』,全日本社会教育連合会,1982,322-331。
- ・池田秀男,「家庭でのしつけと教育—家庭の教育機能をよみがえらせるために—」,『子どもを育てる—中学・高校生をもつ親のために—』,青少年育成広島県民会議,1983,50-58。
- ・岡本包治,「現代の親のための11章—改めたい間違い教育」,北海道青少年育成協会編,『現代の親のための11章』,北海道青少年育成協会,1983,4-32。
- ・押谷由夫,「現代家庭の教育環境」,新堀通也・津金沢聴広編,『教育の環境と病理』,第一法規,1984,99-130。

VI 調査報告

- ・浅井経子、「家庭生活の実態と生活意識(3)(4)」, 中野区教育委員会『中野区の児童・生徒をもつ親の意識調査』, 中野区教育委員会, 1981, 16—36。
- ・水谷 修、「親が期待する子どもの将来と親の教育観」, 『中野区の児童・生徒をもつ親の意識調査』, 東京都中野区教育委員会, 1981, 64—84。
- ・岡本包治, 『新宿区家庭教育実態調査報告書』, 新宿区教育委員会, 1983。

7. 生涯教育と学校教育 (学校改革・学校開放も含む)

II 編 書

- ・Mary Jean Bowman, Hideo Ikeda and Yasumasa Tomoda, *Educational Choice and Labor Markets in Japan*, The University of Chicago Press, 1981.

IV 雑誌論文

- ・池田秀男・多々納道子、「生涯教育と高校段階の教育課題」, 『生涯教育の展開』(日本生涯教育学会年報第1号), ぎょうせい, 1980, 133—157。
- ・香川正弘、「近世の大学拡張の構想と実践」, 『佐賀大学教育学部研究論文集』, 第28集第1号(1), 佐賀大学教育学部, 1980, 19—38。
- ・池田秀男, 「高学歴社会における教師像」, 『厚生補導』, 第185号, 第一法規, 1981, 5—11。
- ・池田秀男, 「大学の第三の機能に関する研究」, 『大学論集』, 第10集, 広島大学大学教育センター, 1981, 83—100。
- ・岩本層三, 「学校開放に関する研究—高校開放講座についての一考察—」, 『千葉県教育センター研究紀要』, 197集, 千葉県教育センター, 1981。
- ・大江正比古, 「教育システムにおける卒業資格のもつ意味」, 『生涯教育体系の構想』(日本生涯教育学会年報第2号), ぎょうせい, 1981, 249—264。
- ・山本恒夫, 「生涯教育とこれからの学校教育」, 『教育調査』, 121号, ぎょうせい, 1981, 2—7。
- ・池田秀男, 「考える力を育てる授業の条件」, 『千葉教育』, 第298号, 千葉県教育センター, 1982, 4—8。
- ・池田秀男, 「大学教育の拡張と教員の役割」, 『研究ノート大学と社会』, 14号,

- 東北大学教育学部附属大学教育開放センター, 1982, 9-17。
- ・岩本層三,「高校開放講座開設の条件に関する研究—学校開放促進のために—」,『千葉県教育センター研究紀要』,第207集,千葉県教育センター,1982。
 - ・岩本層三,「学社連携についての一考察—千葉県における高校開放講座を素材として—」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),ぎょうせい,1982,63-87。
 - ・押谷由夫,「集団宿泊学習の効果に関する一考察」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),ぎょうせい,1982,291-306。
 - ・北嶋武彦,「大学開放と図書館」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),ぎょうせい,1982,173-182。
 - ・佐々木正治,「リカレント教育制度の開発」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),ぎょうせい,1982,43-62。
 - ・田中雅文,「大学公開講座の動向—MKI データベースより—」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),ぎょうせい,1982,223-242。
 - ・三浦清一郎,「サンドウィッチ・システムと資格体系」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),ぎょうせい,1982,151-169。
 - ・村田文生,「高校開放講座の企画」,『社会教育』,第37巻第3号,全日本社会教育連合会,1982,35-37。
 - ・山本恒夫,「生涯教育と学校教育」,『別冊教職研修(昭和57年4月)』,教育開発研究所,1982,22-26。
 - ・由利忠四郎,「学校教育と社会教育の相互連携」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),ぎょうせい,1982,89-106。
 - ・池田秀男,「成人教育と学校開放」,『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号),ぎょうせい,1983,109-113。
 - ・角替弘志,「生涯教育と学校教育」,『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号),ぎょうせい,1983,115-122。
 - ・池田秀男,「求められる新しい教師像」,『教職研修』,141号,教育開発研究所,1984,26-30。
 - ・市川 昌,「弱いものいじめの底流」,『放送教育』,9月号,日本放送教育協会,1985,34-38。
 - ・村田文生,「学社連携における公民館の役割」,『月刊公民館』,333号,全国公民館連合会,1985,18-22。

V 編纂書論文

- ・山本恒夫,「学校施設開放」,吉本二郎・永岡 順編,『学校と地域社会』(現代学校教育全集21),ぎょうせい,1980,231-260。
- ・山本恒夫,「学校教育と社会教育の連携」,吉本二郎・真野宮雄他編,『協力する学校・家庭・地域』(新教育を創造する学校経営第3巻),東京書籍,1980,259-284。
- ・三浦清一郎,「大学開放と社会教育」,国立社会教育研修所編,『社会教育—その周辺—』,国立社会教育研修所,1982,22-39。
- ・山本恒夫,「生涯教育と学校」,筑波大学教育学研究会編,『現代教育学の基礎』,ぎょうせい,1982,164-169。
- ・岡本包治,「青少年教育施設を利用して行われる学校外教育の研修プログラム立案の視点」,国立オリンピック記念青少年総合センター,『青少年教育施設を利用して行われる学校外教育の研修プログラムの開発研究』,国立オリンピック記念青少年総合センター,1983,8-12。
- ・大江正比古,「学校機能論覚書—職業世界との関わりにおいて—」,西村 皓・小笠原道雄・春山浩司編,『教育の根底にあるもの』,以文社,1984,197-213。
- ・池田秀男,「生涯教育と小学校教育—21世紀を目指して—」,山口県小学校長会編,『歩み』,No.27,山口県小学校長会,1985,3-8。
- ・住岡英毅,「学校教育の生涯教育化」,岡本包治・山本恒夫編,『生涯教育のアイディアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4),ぎょうせい,1985,165-184。
- ・田中雅文,「大学の生涯教育」,岡本包治・山本恒夫編,『生涯教育とは何か—課題から実践へ—』(生涯教育対策実践シリーズ1),ぎょうせい,1985,297-313。

VI 調査報告

- ・浅井経子,「学校教育への期待(1)」,中野区教育委員会『中野区の児童・生徒をもつ親の意識調査』,中野区教育委員会,1981,37-41。
- ・香川正弘,「大学開放の実態と可能性」,『社会教育指導充実強化事業報告書(昭55佐(1))』,佐賀県教育委員会,1981,69-77。
- ・池田秀男,「大学公開講座の最近の動向と事例研究」,倉内史郎編,『高学歴化による社会教育の学習構造の変化に関する研究』,東洋大学文学部,1985,5-15。
- ・池田秀男・佐々木正治・多々納道子・津川淳,「高等学校レベルにおける教育機

会の地域的構造と選抜機能に関する実証的研究』, 広島大学教育学部, 1981。

8. 生涯教育と地域社会

I 著書

- ・瀬沼克彰, 『コミュニティの生涯教育』, 学文社, 1984。

II 編書

- ・斎藤清三編著, 『地方の時代』, ぎょうせい, 1980。

IV 雑誌論文

- ・三浦清一郎, 「地方創造と生涯教育体制確立のための構想」, 『生涯教育の展開』(日本生涯教育学会年報第1号), ぎょうせい, 1980, 187—211。
- ・山本恒夫, 「地域における学習活動の援助」, 『月刊公民館』, 第277号, 全国公民館連合会, 1980, 5—11。
- ・山本恒夫, 「地域の文化活動と生涯学習」, 『文化庁月報』, No.147, ぎょうせい, 1980, 4—6。
- ・山本恒夫, 「地方文化の創造と展開」, 『学校経営』, 25巻第12号, 第一法規, 1980, 19—25。
- ・岡本包治, 「自治公民館の役割と課題」, 『月刊公民館』, 第305号, 全国公民館連合会, 1982, 5—9。
- ・山本恒夫, 「父親と地域活動」, 『月刊子ども会』, 10月号, 全国子ども会連合会, 1982, 16—19。
- ・末崎ふじみ, 「河川浄化ボランティア事業によるコミュニティ形成運動への一視点」, 『日本社会教育学会紀要』, 20号, 日本社会教育学会, 1984, 41—50。
- ・山本恒夫「市町村の生涯教育推進状況」, 『地域の中の生涯学習』(日本生涯教育学会年報第5号), ぎょうせい, 1984, 205—219。
- ・三浦清一郎, 「地域の中の生涯学習」, 『生涯教育の推進システム』(日本生涯教育学会年報第6号), ぎょうせい, 1985, 87—96。
- ・水谷 修, 「成人の学習に関する地域差の分析—学習活動と学習希望を中心に—」, 『筑波大学教育学系論集』, 第10巻第1号, 筑波大学教育学系, 1985, 1—15。

V 編纂書論文

- ・池田秀男、「大卒者の地域移動」、中西信男・麻生 誠・友田泰正編、『就職一大学生の選職行動』、有斐閣選書、1980、82—106。
- ・角替弘志、「生涯学習と地方自治体」、総合研究開発機構編、『シンポジウム「日本の生涯教育」』、総合研究開発機構（NIRA）、1981、125—138。
- ・山本恒夫、「組織・体制の整備・充実」、文部省大臣官房企画室編、『地域社会における生涯教育について』、文部省大臣官房企画室、1981、30—36。
- ・佐藤晴雄、「地域と非行・校内暴力」、国立教育研究所編、『校内暴力事例の総合的研究』、学事出版、1984、369—389。
- ・佐藤晴雄、「教師と地域・父母と協力」、伊津野朋弘編、『未来に生きる教師』、エイデル研究所、1984、279—289。
- ・園田信行、「民間事業体と公共事業体の活動領域」、岡本包治・山本恒夫編、『生涯教育のアイデアと実践』（生涯教育対策実践シリーズ4）、ぎょうせい、1985、362—367。
- ・山本恒夫、「市町村における生涯教育推進状況—その全体的傾向—」、岡本包治・山本恒夫編、『市町村の生涯教育システム』（生涯教育対策実践シリーズ3）、ぎょうせい、1985、1—27。

VI 調査報告

- ・山本恒夫、「川北薩串木野モデル定住圏（2～5）」、文部省大臣官房編、『定住圏における生涯教育システム開発に関する調査報告書』、文部省、1980、163—189。
- ・香川正弘、「民間企業、諸団体の社会教育力」、『社会教育指導充実強化事業報告書（昭55佐(1)）』、佐賀県教育委員会、1981、53—67。
- ・山本恒夫、「地域の教育力に対する期待」、東京都中野区教育委員会編、『中野区の児童・生徒をもつ親の意識調査』、中野区教育委員会、1981、51—64。
- ・香川正弘、「今後における社会保険福祉サービスセンター（仮称）の発展方向と課題』、『社会保険福祉サービスセンター（仮称）の有効利用の方策に関する調査研究報告書』、佐賀経済調査協会、1983、262—268。
- ・浅井経子、『坂戸市における生涯教育調査報告書』、埼玉県坂戸市教育委員会、1984。
- ・山本恒夫、『市区町村の生涯教育調査（概要）』、日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」、1984。

- ・山本恒夫、「市区町村の生涯教育 4)東海地区(3)―(5)」,『市区町村の生涯教育調査』,日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」,1984,85―94。
- ・山本恒夫、「全体的傾向」,『市区町村の生涯教育調査』,日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」,1984,8―18。
- ・赤尾勝己、「高学歴社会と地域」,平和経済計画会議編,『1985年度国民の経済白書』,日本評論社,1985,163―174。
- ・田中雅文,「余暇学習グループの行政及び地域との関わり」,『余暇学習の実践事例に関する調査研究』,日本余暇文化振興会,1985,54―63。

9. 生涯教育と企業内教育

IV 雑誌論文

- ・岡本包治・坂口順治・辻 功・那須野弘司・渡辺一久・水谷 修,「生涯教育と企業内教育訓練」,『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号),ぎょうせい,1983,225―242。
- ・瀬沼克彰,「企業における生涯教育対応の必要性」,『労務研究』,11月号,日本労務研究会,1985,8―16。

V 編纂書論文

- ・辻 功・渡辺一久・水谷 修,「企業の中の生涯教育」,岡本包治・山本恒夫編,『生涯教育のアイディアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4),ぎょうせい,1985,187―219。

VI 調査報告

- ・福井県生涯学習センター,『企業に働く人々の生涯学習に関する実態調査』,福井県生涯学習センター,1985。

10. 生涯教育と放送・通信教育

I 著 書

- ・片岡徳雄・住岡英毅,『視る・集まる・学ぶ―テレビ学習から地域づくりへ―』,日本放送出版協会,1981。

III 翻訳書

- ・ 広渡修一, 『Open University の教授法』, 私立大学通信教育協会, 1982。
- ・ 広渡修一, 「OU 通信教材執筆マニュアルの要約」, 松本 憲監修・共訳, 『開放制教育研究委員会報告』, 第9号, 私立大学通信教育協会, 1982, 73—85。
- ・ 広渡修一, 『学習方法—オープン・ユニヴァーシティの学習ガイド』, 私立大学通信教育協会, 1982。
- ・ 広渡修一, 『アメリカのスタディ・ガイド』, 私立大学通信教育協会, 1984。

IV 雑誌論文

- ・ 伊藤俊夫, 「余暇に学ぶ人達—社会通信教育」, 『文教』, No.12, 教育問題研究会, 1980, 48—56。
- ・ 藤岡英雄, 「通信教育の可能性—遠隔教育論的アプローチ」, 『教育学研究』, 第47巻第4号, 日本教育学会, 1980, 298—307。
- ・ 藤岡英雄, 「放送テキストはどのように使われているか—利用タイプの分類と機能分析の試み—」, 『NHK 文研月報』, 4月号, 日本放送出版協会, 1980, 21—30。
- ・ 三浦清一郎, 「社会教育における放送利用個人学習促進・援助方策についての実験的調査研究(一)」, 『福岡教育大学紀要』, 第29号, 福岡教育大学, 1980, 85—94。
- ・ 南本長穂, 「成人の学習機会としての放送利用学習」, 『教育社会学研究』, 第35集, 日本教育社会学会, 1980, 158—169。
- ・ 広渡修一, 「アメリカの大学における放送による生涯教育の新展開」, 『レファレンス』, 第31巻第9号, 国立国会図書館調査立法及考査局, 1981, 34—72。
- ・ 広渡修一, 「英国公開大学への一視点—遠隔教育のシステム化をめぐる—」, 東大教育学部社会教育学研究室編, 『社会教育学・図書館学研究』, 第5号, 東大教育学部社会教育学研究室, 1981, 33—43。
- ・ 藤岡英雄, 「語学講座テキストの利用形態とその機能」, 『NHK 文研月報』, 3月号, 日本放送出版協会, 1981, 36—46。
- ・ 藤岡英雄, 「教育番組のマーケット・リサーチ(1) “マーケット” をどうとらえるか—その性格と構造—」, 『NHK 文研月報』, 9月号, 日本放送出版協会, 1981, 33—37。
- ・ 藤岡英雄, 「教育番組のマーケット・リサーチ(2), マーケット情報の種類と要件」, 『NHK 文研月報』, 11月号, 日本放送出版協会, 1981, 33—37。

- ・三浦清一郎,「社会教育における放送利用個人学習促進・援助方策についての実験的調査研究(1)」、『福岡教育大学紀要』, 第30号, 福岡教育大学, 1981, 123—136。
- ・藤岡英雄,「教育番組のマーケット・リサーチ(3)教育番組需要調査の開発」,『NHK文研月報』, 1月号, 日本放送出版協会, 1982, 46—49。
- ・藤岡英雄,「教育番組のマーケット・リサーチ(4)学習行動把握の方法と問題点」,『NHK文研月報』, 5月号, 日本放送出版協会, 1982, 20—25。
- ・藤岡英雄,「教育番組のマーケット・リサーチ(5)学習関心把握の方法と問題点」,『NHK文研月報』, 6月号, 日本放送出版協会, 1982, 28—32。
- ・池田秀男,「高等教育における教授方法革新の世界的動向」,『九州教育学会研究紀要』, 第10巻, 九州教育学会, 1983, 2—7。
- ・市川 昌,「世界コミュニケーション年—通信インフラストラクチャーと問題点」,『国際電気通信連合と日本』, Vol.13, No. 8, 日本 ITU 協会, 1983, 1—14。
- ・広渡修一,「『大学院』通信教育の可能性」,『通信教育研究集録』, 第30号, 日本通信教育学会, 1983, 22—38。
- ・南本長穂,「社会教育における放送利用—学習者の定着化を中心として—」,『放送教育研究』, 第12号, 日本放送教育学会, 1983, 16—30。
- ・南本長穂,「社会教育における放送利用(2)」,『教育学研究紀要』, 第28巻, 中国四国教育学会, 1983, 91—94。
- ・市川 昌,「メディアと教育(その1)戦前におけるラジオ講演番組の系譜」,『月刊社会教育』, 329号, 国土社, 1984, 56—64。
- ・市川 昌,「メディアと教育(その2)戦後の社会教育と集団視聴」,『月刊社会教育』, 330号, 国土社, 1984, 68—77。
- ・藤岡英雄,「生涯学習媒体としての放送—人びとの意識をさぐる—」,『NHK放送研究と調査』, 10月号, 日本放送出版協会, 1984, 12—25。
- ・南本長穂,「高齢者の放送利用学習—学習活動の継続化に関する事例分析—」,『地域の中の生涯学習』(日本生涯教育学会年報第5号), 日本生涯教育学会, 1984, 151—167。
- ・南本長穂,「社会教育における放送利用(3)」,『教育学研究紀要』, 第29巻, 中国四国教育学会, 1984, 104—107。
- ・塩崎千枝子,「ニューヨーク工科大生の記」,『IDE 現代の高等教育』, No.266, 民主教育協会, 1985, 49—55。
- ・塩崎千枝子,「ニューヨーク工科大学における遠隔教育」,『電子通信学会技術研究報告』, 電子通信学会, 1985, 9—14。

- ・藤岡英雄,「成人の学習媒体とこれからの学習方法」,『社会教育』,第40巻第3号,全日本社会教育連合会,1985,21-25。
- ・藤岡英雄,「講座番組利用者にみる学習の諸相—横浜調査のケース・スタディから」,『NHK放送研究と調査』,7月号,日本放送出版協会,1985,40-47。

V 編纂書論文

- ・市川 昌,「テレビ時代の孤独な青春—視聴者としての若者論—」,伊藤俊夫・山本恒夫・吉川 弘編,『生涯教育と青少年教育』,ぎょうせい,1981,151-160。
- ・関口 勇,「社会教育における放送利用」,『社会教育における放送利用』(56年度),埼玉県教育委員会,1981,1-12。
- ・関口 勇,「社会教育の推進と視聴覚教材の活用」,『専門委員会報告』(58年度),埼玉県視聴覚教育連絡協議会,1983,3-7。
- ・藤岡英雄,「社会通信教育」,伊藤俊夫,河野重男,辻 功編,『新社会教育事典』,第一法規,1983,379-382。
- ・市川 昌,「放送衛星時代の生涯教育」,岡本包治,山本恒夫編,『生涯教育とは何か—課題から実践へ』(生涯教育対策実践シリーズ1),ぎょうせい,1985,371-388。
- ・白石克己,「通信教育による成人の学習」,岡本包治,山本恒夫編,『生涯教育のアイデアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4),ぎょうせい,1985,281-287。

VI 調査報告

- ・赤尾勝己,「世界の通信教育事情」,『私大通信』,第15号—第21号,私立大学通信教育協会,1982-1984。

11. 生涯教育と関連教育施設

(生涯教育センター・社会教育センター・公民館・文化センターなど諸施設論を含む)

I 著 書

- ・宮沢純太郎,「公民館像を求めて」,山梨県公民館連絡協議会,1982。
- ・田代元彌,『公民館から見た日本の教育』,全国公民館連合会,1985。

IV 雑誌論文

- ・山本恒夫・水谷修,「公民館における調査活動—栃木県藤原町の調査事例—」,『月刊公民館』,第283号,全国公民館連合会,1980,5—13。
- ・伊藤俊夫,「海外諸国の博物館」,『文部時報』,No.1253,10月号,ぎょうせい,1981,31—36。
- ・伊藤俊夫,「公民館・図書館・博物館」,『教職研修』,No.107,7月号,教育開発研究所,1981,26—29。
- ・岡本包治,「学習社会と公民館の機能」,岡山県公民館協議会編,『学習社会と公民館』,岡山県公民館協議会,1981,2—10。
- ・山本恒夫,「公民館事業の魅力」,『月刊公民館』,第294号,全国公民館連合会,1981,5—8。
- ・赤尾勝己,「生涯教育における学校外教育のシステム化をめぐる問題」,『慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要』,第22号,1982,33—41。
- ・三浦清一郎,「公民館における新しい事業の開発」,『文部時報』,第1264号,ぎょうせい,1982,30—35。
- ・南本長穂,「地方都市の民間学習施設に関する考察」,『生涯教育と学校教育』(日本生涯教育学会年報第3号),日本生涯教育学会,1982,257—274。
- ・山本恒夫,「社会教育複合施設における事業展開の視点」,『社会教育』,第37巻第2号,全日本社会教育連合会,1982,5—9。
- ・伊藤俊夫,「少年非行と公民館」,『月刊公民館』,第315号,全国公民館連合会,1983,5—10。
- ・斎藤哲郎,「少年自然の家の現状とその考察」,『社会教育』,第38巻4号,全日本社会教育連合会,1983,33—38。
- ・関口 勇,「よりよき公民館活動を展開するためにどのような視聴覚設備が望まれるか」,『月刊公民館』,第319号,全国公民館連合会,1983,12—18。
- ・山本恒夫,「公民館指数の作成と活用」,『月刊公民館』,第313号,全国公民館連合会,1983,38—41。
- ・岡本包治,「公民館・図書館・博物館の連携」,『社会教育』,第39巻455号,全日本社会教育連合会,1984,17—21。
- ・岡本包治,「公民館利用グループの運営—リーダーのための10章」,『月刊公民館』,第323号,全国公民館連合会,1984,5—9。
- ・岡本包治,「地域の特性を生かした公民館事業の編成」,『社会教育』,第245号,福島県教育委員会,1984,2—5。

- ・岡本包治、坂口順治・辻 功・山本恒夫・水谷 修・渡辺一久、「民間学習機関の生涯教育活動に関する調査」、『地域の中の生涯学習』（日本生涯教育学会年報第5号）、ぎょうせい、1984、221-233。
- ・北嶋武彦・前橋房美・田中和子、「地域の中の生涯学習活動としての文庫・図書館作り運動」、『地域の中の生涯学習』（日本生涯教育学会年報第5号）、ぎょうせい、1984、61-80。
- ・佐伯信男、「学習情報と図書館サービス」、『図書館雑誌』、Vol.78, No.9, 日本図書館協会、1984、616-618。
- ・佐伯信男、「『生涯教育時代に即応した公民館のあり方』を読んで」、『月刊公民館』、第328・329号、全国公民館連合会、1984、25-28。
- ・由利忠四郎、「公民館職員研修の必要性和その目標」、『月刊公民館』、第327号、全国公民館連合会、1984、5-9。
- ・安心院光義、「『大分県立九重少年自然の家設備・備品』についてIII 3. 物的条件の整備(4)少年教育施設⑥設備、備品」、『社会教育事例集追補』、19-20号、第一法規、1985。
- ・伊藤俊夫、「少年自然の家を考える」、『公共建築』、No.107、1985、4-5。
- ・岡本包治、「公民館の選択すべき事業—第5次専門答申の解説」、『月刊公民館』第337号、全国公民館連合会、1985、20-23。
- ・田代直人、「公民館経営のための基礎的調査研究—山口県徳山市をフィールドとして—」、『生涯教育の推進システム』（日本生涯教育学会年報第6号）、ぎょうせい、1985、169-185。

V 編纂書論文

- ・岡本包治、「中央公民館と地区公民館の役割と事業分担」、岡本包治編著、『社会教育職員必携—社会教育の指導と事務—』（講座現代の社会教育第7巻）、ぎょうせい、1980、172-175。
- ・岡本包治、「地域少年施設の経営」、岡本包治編著、『社会教育の基礎技術』（講座現代の社会教育第1巻）、ぎょうせい、1981、154-174。
- ・岡本包治、「青少年施設における主催事業のあり方—研修プログラム開発の視点—」、国立オリンピック記念青少年総合センター編、『青少年施設における研修プログラムの開発をめざして』、国立オリンピック記念青少年総合センター、1982、1-5。
- ・伊藤俊夫、「社会教育施設の種類と機能」、伊藤俊夫・河野重男・辻 功編、『新社会教育事典』、第一法規、1983、417-421。

- ・伊藤俊夫,「棚橋源太郎—博物館育ての親—」,社会教育連合会編,『社会教育論者の群像』,社会教育連合会,1983,35—46。
- ・斎藤哲郎,「少年自然の家のめざすもの」,渡辺昭郎・遠藤茂樹・宮田尚夫・大野栄夫・竹田幸正・菅原正功・有見正敏・斎藤哲郎・渋谷兼克・田村繁敏・高橋典明,『子どもの手による集団宿泊生活の創造』,国立花山少年自然の家,1983,1—10。
- ・山本恒夫,「社会教育の目標と公民館の役割」,国立社会教育研修所編,『社会教育の目標と内容—その1—』,国立社会教育研修所,1983,1—15。
- ・瀬沼克彰,「転期に立つカルチャーセンターの行方」,日本能率協会編,『市場予測レポート』,日本ビジネスレポート,1985,67—73。
- ・斎藤哲郎,「少年自然の家における教育活動への取り組みについて」,江馬成也・花島政三郎・洞口六夫・雪江美久・伊沢紘生・大野栄夫・遠藤茂樹・竹田幸正・辛沢清衛・斎藤哲郎,『学校外教育施設を利用した教育活動の意義と方法についての研究』,宮城教育大学(大学教育方法等改善研究会),1985,139—149。
- ・辻 功・渡辺一久・水谷 修,「民間学習機関と生涯教育」,岡本包治・山本恒夫編『生涯教育のアイディアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4),ぎょうせい,1985,223—244。
- ・吉川 弘,「青年の家における学・社連携の主要局面とメリット」,『国立社会教育研修所研修資料60—4』,国立社会教育研修所,1985,100—117。

VI 調査報告

- ・伊藤俊夫,「日本の博物館の現状」,『自動車博物館調査報告書(II)—2』,自動車工業振興会,1981,1—6。
- ・斎藤哲郎,「全国少年自然の家実態調査の結果」,斎藤哲郎・及川勝義・斎藤 薫・橋場勇吉・菊池康雄・小島信弥・半澤清衛・鈴木貞夫・讃岐幸一,『「全国少年自然の家運営実態調査」報告書』,全国少年自然の家連絡協議会,東北・北海道地区連絡協議会,1982,2—32。
- ・香川正弘・進藤宗洋,「社会保障福祉サービスセンター(仮称)のプログラム編成の原則」,『社会保障福祉サービスセンター(仮称)の有効利用の方策に関する調査研究報告書』,佐賀経済調査協会,1983,91—140。
- ・岡本包治,「東京小中学生センターの地域定着度に関する調査」,伊藤志記念財団,1985。
- ・馬場栄一,「公民館事業に関する調査研究」,『研究紀要』,第6号,高松市教育

文化研究所, 1985, 1—62。

12. 学習情報・相談

IV 雑誌論文

- ・市川 昌, 「マスメディアの発達と情報処理学習～80年代におけるコミュニケーション・モデルの動向～」, 『地域の中の生涯学習』(日本生涯教育学会年報第5号), ぎょうせい, 1984, 115—130。
- ・山本恒夫, 「情報化時代における生涯教育」, 『教育と情報』, 322号, 第一法規, 1985, 2—7。

V 編纂書論文

- ・岡本包治, 「個人学習の活動とその援助方法」, 岡本包治編著, 『社会教育の基礎技術』(講座現代の社会教育第1巻), ぎょうせい, 1981, 126—135。
- ・浅井経子, 「学習相談ネットワークの中のレファレンスの位置づけ」, 国立社会教育研修所編, 『図書館奉仕と生涯学習の援助』, 国立社会教育研修所, 1985, 19—31。
- ・北嶋武彦, 「学習情報提供」, 岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育とはなにか—課題から実践へ—』(生涯教育対策実践シリーズ1), ぎょうせい, 1985, 147—168。
- ・小池源吾, 「学習相談」, 岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育とは何か—課題から実践へ—』(生涯教育対策実践シリーズ1), ぎょうせい, 1985, 169—186。

13. 人材活用

II 編 書

- ・岡本包治編著, 『社会教育ボランティア—発掘・養成・活用』(講座現代の社会教育第6巻), ぎょうせい, 1980。

IV 雑誌論文

- ・岡本包治, 「社会教育とボランティア」, 『社会教育』, 第35巻409号, 全日本社会教育連合会, 1980, 5—9。

- ・稲生勁吾,「有志指導者の養成と活用」,『社会教育』,4月号,全日本社会教育連合会,1983,5-9。
- ・岡本包治,「社会教育指導者のための10章」,『社会教育資料』,85号,広池学園出版部,1983,54-65。
- ・末崎ふじみ,「小都市における人材ボランティア活用事業の企画立案についての方法論的考察」,『生涯教育と社会教育』(日本生涯教育学会年報第4号),ぎょうせい,1983,135-148。
- ・末崎ふじみ,「人材ボランティア活用事業における有志指導者の特性分析」,『社会教育』,第40巻472号,全日本社会教育連合会,1985,65-73。

V 編纂書論文

- ・岡本包治,「社会教育とボランティア—住民はすべてボランティアである」,岡本包治編著,『社会教育ボランティア—発掘・養成・活用—』(講座現代の社会教育第6巻),ぎょうせい,1980,1-22。
- ・岡本包治,「ボランティア活動の意義と地域婦人団体のボランティア活動のあり方」,福島県教育委員会編,『地域婦人団体活動の充実のために』,福島県教育委員会,1981,1-9。
- ・由利忠四郎,「人材活用—秋田県の例—」,『生涯教育実践事例集』,国立社会教育研修所,1984,95-100。

14. 生涯教育と行政施策

(答申・報告書等も含む)

I 著書

- ・山形県,勝又 猛(監修),『生涯教育について』,山形県(企画調整部),1982。
- ・山形県生涯教育振興委員会,『山形県生涯教育基本構想』,山形県(企画調整部),1982。
- ・山形県生涯教育センター基本構想策定委員会,『山形県生涯教育センター基本構想』,山形県(生活福祉部),1985。

IV 雑誌論文

- ・佐々木正治,「北欧生涯教育政策の動向」,『日本社会教育学会紀要』,No.16,日本社会教育学会,1980,53-60。
- ・佐伯信男,「図書館ネットワークと図書館法」,『図書館雑誌』,Vol.75, No.5(昭

56. 5月号), 日本図書館協会, 1981, 259-261。
- ・山本恒夫, 「私を見る我が国の文教の姿, 社会教育」, 『文部時報』, 第1244号, ぎょうせい, 1981, 39-44。
 - ・佐々木正治, 「生涯教育政策の展開とアウトリーチ」, 『日本社会教育学会紀要』, No.18, 日本社会教育学会, 1982, 15-22。
 - ・有馬広美, 「都道府県の生涯教育の現状(教育委員会)」, 『生涯教育と社会教育』 (日本生涯教育学会年報第4号), ぎょうせい, 1983, 212-219。
 - ・岡本包治, 「生涯教育と社会教育—社会教育行政の課題と対応策」, 『生涯教育と社会教育』 (日本生涯教育学会年報第4号), ぎょうせい, 1983, 3-10。
 - ・瀬沼克彰, 「地方自治体にみる生涯教育の状況」, 『社会教育』, 第38巻5号, 全日本社会教育連合会, 1983, 11-18。
 - ・村田文生, 「埼玉県社会教育行政指標試案作成の経緯と活用への諸方策」, 『社会教育』, 第38巻10号, 全日本社会教育連合会, 1983, 31-52。
 - ・由利忠四郎, 「市町村振興計画と生涯教育計画」, 『社会教育』, 第38巻5号, 全日本社会教育連合会, 1983, 19-24。
 - ・岡本包治, 「高齢化社会の社会教育行政」, 『社会教育』, 第39巻453号, 全日本社会教育連合会, 1984, 41-46。
 - ・佐々木隆介, 「生涯学習時代における社会教育職員の仕事—社会教育主事を中心として—」, 『社会教育』, 第39巻462号, 全日本社会教育連合会, 1984, 19-24。
 - ・鈴木正幸・添田晴雄・山本克典, 「生涯教育行政の実態と学習者の意識—兵庫県生涯教育」, 『生涯教育の推進システム』 (日本生涯教育学会年報第6号), 日本生涯教育学会, 1985, 187-206。
 - ・村田文生, 「生涯教育推進への模索」, 『生涯教育の推進システム』 (日本生涯教育学会年報第6号), 日本生涯教育学会, 1985, 21-39。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫, 「社会教育行政」, 伊藤俊夫ほか編, 『現代社会教育の展開』, 文教書院, 1980, 221-233。
- ・伊藤俊夫, 「社会教育における評価」, 日高幸男編, 『社会教育実践の方法・技術』, 全日本社会教育連合会, 1981, 99-108。
- ・岡本包治, 「社会教育の現状と指導者の役割」, 岡本包治編著, 『社会教育の基礎技術』 (講座現代の社会教育第1巻), ぎょうせい, 1981, 1-8。
- ・浅井経子, 「資料の収集と分析」, 『埼玉県社会教育行政指標試案(埼玉県社会教

- 育行政指標の設定に関する研究委員会報告)], 埼玉県教育委員会, 1983, 30-34。
- ・有馬広美, 「高齢者の余暇学習—荳崎市の高齢者学習」, 『高齢者の余暇学習に関する地方自治体の行政施策, 地域団体の事業事例等の調査研究』(研究代表高須裕三), 日本余暇文化振興会, 1984, 87-100。
 - ・池田秀男, 「公的社会教育の目標と行政目標」, 国立社会教育研修所編 (研修資料59-19), 『公的社会教育の役割—その1—』, 国立社会教育研修所, 1984, 13-26。
 - ・岡本包治, 「年間事業計画立案の視点と手順」, 千葉県総合教育センター編, 『年間事業計画立案の視点と手順』, 千葉県総合教育センター, 1984, 1-9。
 - ・佐々木隆介, 「生涯教育の推進をめぐって」, 北海道社会教育協会編, 『北海道における社会教育の歩みと展望』, 北海道社会教育協会, 1984, 26-35。
 - ・山本恒夫, 「公的社会教育の教育作用と行政作用」, 国立社会教育研修所編, 『公的社会教育の役割—その1—』, 国立社会教育研修所, 1984, 27-34。
 - ・山本恒夫, 「生涯教育体制と社会教育」, 国立社会教育研修所編, 『生涯教育の理念と展望』, 国立社会教育研修所, 1984, 103-124。
 - ・有馬広美, 「都道府県の生涯教育システム [関東 (教育委員会)]」, 岡本包治・山本恒夫編, 『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2), ぎょうせい, 1985, 90-116。
 - ・有馬広美, 「市町村の生涯教育システム [関東 (生涯教育施策の特徴その他)]」, 岡本包治, 山本恒夫編, 『市町村の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ3), ぎょうせい, 1985, 94-112。
 - ・伊藤俊男, 「政策レベルの生涯教育概念」, 岡本包治・山本恒夫編『生涯教育とは何か—課題から実践へ—』(生涯教育対策実践シリーズ1), ぎょうせい, 1985, 40-66。
 - ・岡本包治, 「地域の社会教育計画の立案—中・長期計画の立て方」, 千葉県総合教育センター編, 『地域社会教育計画立案の視点と実際』, 千葉県総合教育センター社会教育部, 1985, 1-8。
 - ・岡本包治, 「生涯教育の計画化」, 岡本包治・山本恒夫編, 『生涯教育のアイデアと実践』(生涯教育対策実践シリーズ4), ぎょうせい, 1985, 72-94。
 - ・佐々木隆介, 「都道府県の生涯教育システム—(1)北海道」, 岡本包治・山本恒夫編, 『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2), ぎょうせい, 1985, 31-54。
 - ・佐々木隆介, 「市町村の生涯教育システム—(1)北海道」, 岡本包治・山本恒夫編,

- 『市町村の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ3), ぎょうせい, 1985, 32-55。
- ・角替弘志, 「都道府県の生涯教育システム-④東海」, 岡本包治・山本恒夫編, 『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2), ぎょうせい, 1985, 142-170。
 - ・三浦清一郎, 「都道府県の生涯教育システム-⑧九州」, 岡本包治・山本恒夫編, 『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2), ぎょうせい, 1985, 278-317。
 - ・三浦清一郎, 「市町村の生涯教育システム-⑧九州」, 岡本包治・山本恒夫編, 『市町村の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ3), ぎょうせい, 1985, 264-293。
 - ・由利忠四郎, 「生涯教育推進計画として作成している例」, 『中長期社会教育計画事例集』, 国立社会教育研修所, 1985, 83-93。

VI 調査報告

- ・三浦清一郎, 『社会教育基本調査報告書』, 福岡県宗像町教育委員会, 1980。
- ・三浦清一郎, 『アメリカにおける青少年行政の概要』, 『青少年問題研究調査報告書-主要諸外国における青少年行政の比較研究調査』, 総理府青少年対策本部, 1980, 95-130。
- ・福井県生涯教育体系づくり研究委員会, 『みずからもとめともに学びあおう-生涯教育体系づくり報告書-』, 福井県教育委員会, 1981。
- ・香川正弘, 「派遣社会教育主事による活動の自己評価」, 『派遣社会教育主事の役割等に関する調査研究報告書』(昭和57年度, 文部省委嘱), 佐賀県教育委員会, 1982, 30-37。
- ・稲生勤吾, 「社会教育施設の充実」, 『沼南町総合社会教育計画』, 沼南町教育委員会, 1983, 18-23。
- ・稲生勤吾, 「総合社会教育計画立案のための調査報告」, 『沼南町総合社会教育計画』, 沼南町教育委員会, 1983, 43-86。
- ・福井県生涯学習研究協議会, 『生涯学習センターと市町村の連携について』, 福井県生涯学習センター, 1983。
- ・有馬広美, 「都道府県の生涯教育(関東地区-教育委員会)」, 日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」編, 『都道府県の生涯教育調査』, 日本生涯教育学会, 1984, 59-69。
- ・有馬広美, 「市区町村の生涯教育(関東地区-生涯教育施策の現状他)」, 日本生

- 生涯教育学会「生涯教育類型研究会」編、『市区町村の生涯教育調査』、日本生涯教育学会、1984、51—59。
- ・三浦清一郎、「都道府県の生涯教育〔九州地区〕」、日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」編、『都道府県の生涯教育調査』、日本生涯教育学会、1984、141—153。
 - ・三浦清一郎、「市区町村の生涯教育〔九州地区〕」、日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」編、『市区町村の生涯教育調査』、日本生涯教育学会、1984、140—156。
 - ・三浦清一郎、「佐賀県佐城圏域における文化活動に関する調査報告」(II—1—II—3)、文部省大臣官房企画室編、『佐賀県佐城圏域における文化活動に関する調査報告』、文部省大臣官房企画室、1984、13—55。
 - ・山本恒夫、「社会教育の課題と行政への期待」、茨城県桜村教育委員会編、『社会教育基本調査報告書』、桜村教育委員会、1984、87—102。
 - ・福井県生涯学習研究協議会、『大学等と連携した学習活動の進め方について』、福井県生涯学習センター、1984。
 - ・今野 豊、「生涯教育に関する住民意識調査」、『派遣社会教育主事教育実践研究報告書—第9集—』、北海道教育庁十勝教育局、1985、1—12。
 - ・佐々木隆介、「都道府県の生涯教育調査 1)北海道地区」、『日本の生涯教育実践の類型化に関する実証的研究』(研究代表 辻 功)、筑波大学、1985、I・21—31。
 - ・佐々木隆介、「市区町村の生涯教育調査 1)北海道地区」、『日本の生涯教育実践の類型化に関する実証的研究』(研究代表 辻 功)、筑波大学、1985、II・19—33。
 - ・鈴木正幸他、『市町における生涯教育状況調査』、兵庫県教育委員会、1985。
 - ・三浦清一郎、文部省大臣官房政策課編、『文化活動圏整備のための調査研究報告書—佐賀県佐城圏域—』、文部省大臣官房政策課、1985。
 - ・福井県生涯学習研究協議会、『生涯学習センター事業の効果的な進め方について』、福井県生涯学習センター、1985。

15. 生涯教育の推進事例

IV 雑誌論文

- ・角替弘志、「生涯教育の展開とそのシステム化—静岡県における地域学習の構想

- 一],『生涯教育体系の構想』(日本生涯教育学会年報第2号),ぎょうせい,1981,3-24。
- ・佐々木隆介,「北海道における生涯教育の推進状況について」,『藤女子大学・藤女子短期大学紀要』,21・2,藤女子大学・藤女子短期大学,1983,61-75。
 - ・成田直子,「都道府県知事部局調査の概観」,日本生涯教育学会編,『生涯教育と社会教育』,ぎょうせい,1983,219-223。
 - ・佐々木隆介,「北海道における生涯教育の推進状況についてII」,『藤女子大学・藤女子短期大学紀要』,22・2,藤女子大学・藤女子短期大学,1984,19-27。

V 編纂書論文

- ・有馬広実,「余暇学習の先行的事例」,『余暇学習に関する事例の体系化についての調査研究』(研究代表 湯上二郎),(財)日本余暇文化振興会,1984,31-42,67-74。
- ・由利忠四郎,「生涯教育推進の組織・体制—秋田県の例—」,『生涯教育実践事例集』,国立社会教育研修所,1984,1-7。
- ・池田秀男,「中国・四国地区」,岡本包治・山本恒夫編,『市町村の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ3),ぎょうせい,1985,215-262。
- ・池田秀男,「中国・四国地区」,岡本包治・山本恒夫編,『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2)ぎょうせい,1985,215-276。
- ・木村厚子,「小松市の生涯教育」,岡本包治・山本恒夫編,『市町村の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ3),ぎょうせい,1985,338-342。
- ・成田直子,「市町村の生涯教育システム・関東〈知事部局〉」,岡本包治・山本恒夫編,『市町村の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ3),ぎょうせい,1985,110-123。
- ・成田直子,「都道府県の生涯教育システム・関東〈知事部局〉」,岡本包治・山本恒夫編,『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2),ぎょうせい,1985,90-116。
- ・村田文生,「埼玉県における生涯教育推進上の課題」,岡本包治・山本恒夫編,『都道府県の生涯教育システム』(生涯教育対策実践シリーズ2),ぎょうせい,1985,346-350。

VI 調査報告

- ・小池源吉,「今治明德短期大学の公開講座に関する研究」,『今治明德短期大学紀要』,第14集,今治明德短期大学,1982,1-32。

- ・小池源吾,「今治明德短期大学の公開講座に関する研究(II)」,『今治明德短期大学紀要』,第15集,今治明德短期大学,1983,1-89。
- ・池田秀男,「都道府県の生涯教育 7)中国・四国地区」,日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」編,『都道府県の生涯教育調査』,日本生涯教育学会,1984,126-139。
- ・池田秀男,「市区町村の生涯教育 7)中国・四国地区」,日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」編,『市区町村の生涯教育調査』,日本生涯教育学会,1984,124-139。

16. 諸外国の生涯教育

IV 雑誌論文

- ・浅井経子,「西ドイツの教育制度——学校後教育制度」,『教育制度研究第13号』,教育制度研究会,1980,126-131。
- ・渋谷英章,「低開発諸国における nonformal education の検討——formal education その比較を通して——」,『生涯教育の展開』(日本生涯教育学会年報第1号),ぎょうせい,1980,299-316。
- ・清水一彦,「アメリカにおける大学開放の動向——生涯学習の観点から——」,『生涯教育体系の構想』(日本生涯教育学会年報第2号),ぎょうせい,1981,265-283。
- ・手塚武彦,「フランスの成人教育制度の特色」,『生涯教育体系の構想』(日本生涯教育学会年報第2号),ぎょうせい,1981,231-245。
- ・三浦清一郎,「アメリカ合衆国における成人教育情報センター」,『社会教育』,第36巻第2号,全日本社会教育連合会,1981,39-44。
- ・三浦清一郎,「日米比較社会教育の試み アメリカの中都市における社会教育」((1)-(5)),『社会教育』,第36巻第3・7・10・12号・第37巻第2号,全日本社会教育連合会,1981-2
- ・佐藤晴雄・前田耕司,「イギリスにおけるユース・サービスの新しい動向——『トンプソン報告書』を中心として——」,『火曜研究会報告』,第8号,東京大学出版会,1983,39-51。
- ・渋谷英章,「インドにおける Nonformal Education の論理構造——教育制度における Nonformal Education の位置づけの3類型に関して——」,『教育学系編集』,第7巻,筑波大学教育学系,1983,3-15。

- ・ 渋谷英章, 「インドの大学における成人教育活動」, 『諸外国における義務教育後の学校外教育の組織と活動——学校教育との関連を中心として——』(国立教育研究所紀要第105集), 国立教育研究所, 1983, 55—68。
- ・ 末崎ふじみ, 「地域社会における人材ボランティア活用の基本理念」, 『社会教育』, 第38巻第12号, 全日本社会教育連合会, 1983, 35—40。
- ・ 大江正比古, 「コミュニティ・カレッジの二つの機能」, 『東京電機大学研究報告 (人文・社会・外国語, 保健体育系列編)』, No. 3, 東京電機大学工学部, 1984, 47—56。
- ・ 赤木恒雄, 「アメリカ成人基礎教育の展開と評価」, 『大下学園女子短期大学研究集報』, 第22集, 大下学園女子短期大学, 1985, 39—52。
- ・ 池田秀男・岡田龍樹・尋木伸広, 「海外における生涯教育研究の動向」, 『生涯教育の推進システム』(日本生涯教育学会年報第6号), ぎょうせい, 1985, 207—223。
- ・ 佐藤晴雄, 「イギリスにおける Youth Training Scheme の成立過程と現状」, 『生涯教育のシステム』(日本生涯教育学会年報第6号), ぎょうせい, 1985, 225—242。
- ・ 佐藤晴雄, 「ロンドンのユース・サービス」, 『日英青少年指導者研究協議会報告書』, (社)青少年育成国民会議, 1985, 24—28。
- ・ 角替弘志, 「イギリスの継続教育」, 『国立社研通信』, 第57号, 国立社会教育研修所, 1985, 11—15。
- ・ 三浦清一郎, 「コミュニティカレッジ『運営と経営の諸問題』」, 『IDE 現代の高等教育』, No.265, 民主教育協会, 1985, 24—31。

V 編纂書論文

- ・ 手塚武彦, 「フランス」, 原田種雄・新井恒易編, 『現代世界教育史』, ぎょうせい, 1981, 159—240。
- ・ 渋谷英章, 「インドの社会教育」, 伊藤俊夫・河野重夫・辻 功編, 『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 106—108。
- ・ 渋谷英章, 「諸外国の生涯教育政策」, 伊藤俊夫・河野重夫・辻 功編, 『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 185—190。
- ・ 手塚武彦, 「フランスにおける義務教育後の教育機会の体制と問題」, 『国立教育研究所紀要』, 第105集, 国立教育研究所, 1983, 193—207。
- ・ 手塚武彦, 「フランスの社会教育」, 伊藤俊夫・河野重夫・辻 功編, 『新社会教育事典』, 第一法規, 1983, 91—95。

- ・池田秀男,「高等成人教育の組織と活動——ロンドン大学の場合」,新堀通也編,『大学教授職の総合的研究』,多賀出版,1984,416-437。
- ・佐伯信男,「パリの公共図書館政策」,佐伯信男編著,『社会教育施設論』,教友社,1985,197-223。

VI 調査報告

- ・角替弘志,「東南アジア諸国における社会教育」,『1980年国際成人教育協議会報告書』,全日本社会教育連合会,1980,34-51。

17. その他

I 著書

- ・稲生勁吾,『社会教育調査の仕方と事業計画のたて方』,教友社,1980。

II 編書

- ・丸尾源治,『尾口村の植生』,石川県石川郡尾口村教育委員会,1983。

IV 雑誌論文

- ・池田秀男,「社会教育の研究開発——現状と課題」,『教育学研究紀要』,第25巻,中国四国教育学会,1980,65-67。
- ・斉藤哲那,「青年の家の生活指導におけるグループワークの導入」,『青年の家の現状と課題』第十集,全国青年の家連絡協議会,1982,7-23。

V 編纂書論文

- ・岡本包治,「社会教育における学習評価」,岡本包治編著,『学習プログラム——立案・展開・評価——』(講座現代の社会教育第3巻),ぎょうせい,1980,220-272。
- ・岡本包治,「権田保之助——娯楽教育論の始祖」,全日本社会教育連合会編,『社会教育論者の群像』,全日本社会教育連合会,1983,179-200。

VI 調査報告

- ・稲生勁吾,「都道府県調査の計画・実施の概要」,日本生涯教育学会「生涯教育類型研究会」編,『都道府県の生涯教育調査』,日本生涯教育学会,1984,3

— 4。

- ・ 稲生 勁吾, 「市区町村調査の計画・実施の概要」, 日本生涯教育学会「生涯教育
類型研究会」編, 『市区町村の生涯教育調査』, 日本生涯教育学会, 1984, 3
— 6。

(注)この生涯教育文献調査に関して, 調査依頼状や調査用紙の印刷及び配布は,
学会事務局と稲生研究室のご協力を頂いた。厚くお礼申しあげる次第である。
なお, この調査計画は池田秀男と尋木伸広が中心になって推進したが, 結果
の処理には佐々木正治, 井上豊久, 岡田龍樹を加えた5人が当った。その他,
同研究室の入江賢一, 開藤一郎, 山田誠, 岩崎秀子, 清国祐二, 林三起子,
藤本直久が目録の作成に協力した。